資料－２

平成22年度第６回
北陸地方整備局
事業評価監視委員会

国道17号　六日町バイパス

再評価資料

平成２３年３月

北陸地方整備局

目　　　次

1. 事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
　1）南魚沼市（旧六日町）地域の課題・・・・・・・・・・・・・・・1
　2）事業の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　3）事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

2. 現在に至る経緯等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
　1）事業の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3. 事業内容の見直しコスト縮減策・・・・・・・・・・・・・・・・・5
4. 前回再評価からの変更点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
5. 事業の必要性・効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　1）客観的評価指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

6. 当該道路の役割・効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　1）３便益に係る整備効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　　① 走行時間の短縮・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　　② 渋滞損失時間の減少・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　　③ 交通事故件数の減少・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　　④ 冬期におけるスムーズな交通の確保・・・・・・・・・・・・・13
　2）事業の投資交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　3）費用対効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　4）その他の効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　　① バス路線及び鉄道の利便性向上・・・・・・・・・・・・・・・16
　　② 日常活動圏の中心都市である六日町中心市街地・・・・・・・・17
　　③ 救命救急施設へのアクセス向上・・・・・・・・・・・・・・・19
　　④ 救急医療施設の再構築・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　　⑤ 主要な観光地へのアクセス向上・・・・・・・・・・・・・・・20
　　⑥ 夜間交通騒音の改善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
　　⑦ 物流の効率化・支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　　⑧ 他のプロジェクトとの連携（八箇峠道路）・・・・・・・・・・23

7. 費用対効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

8. 事業進捗の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

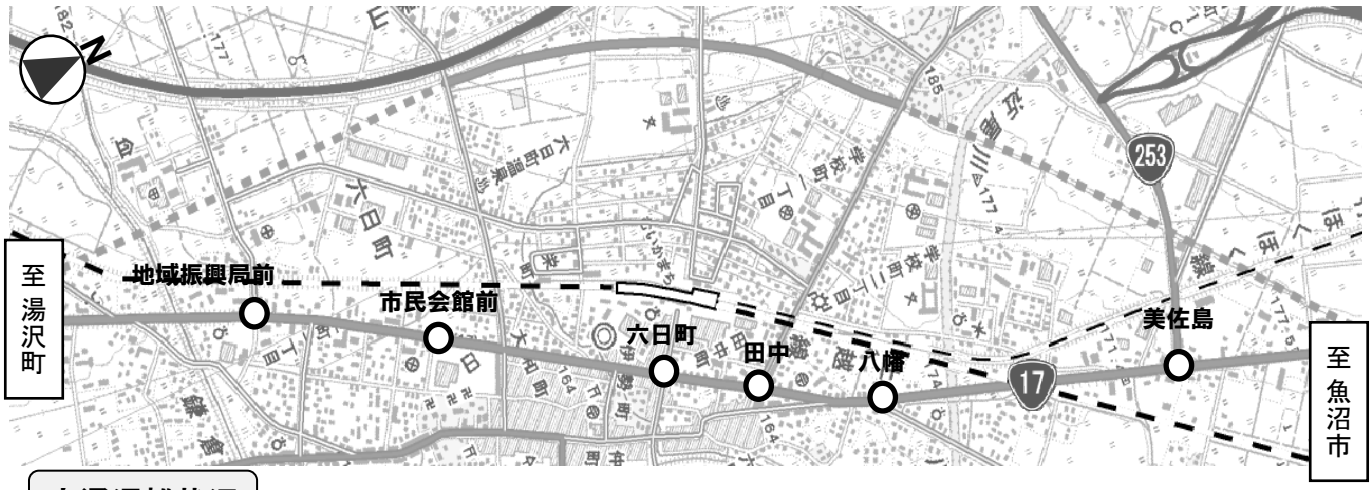
9. 代替案等の可能性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

10. 対応方針（原案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

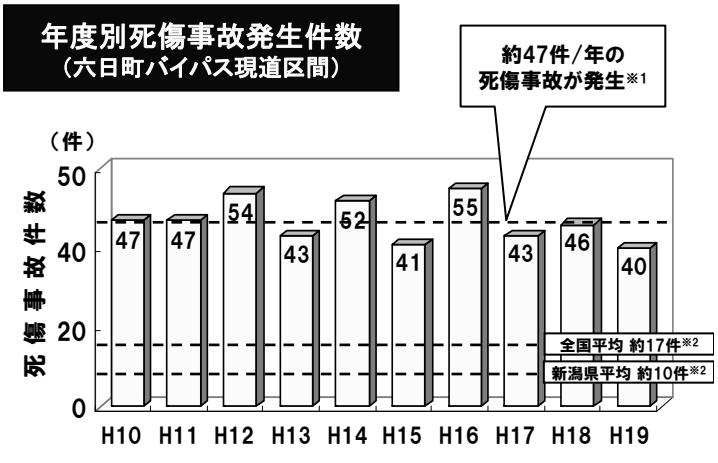
1.事業の概要

1）南魚沼市（旧六日町）地域の課題

①最も重要な幹線道路である国道17号の慢性的な交通混雑。
②国道17号の死傷事故件数が全国平均の約２．８倍
③日本有数の豪雪地帯であるが、十分な堆雪幅が確保されていないことから、冬期の交通障害が発生し、幹線道路の機能が低下
※通勤・通学・バスなど日常生活に影響
⇒<u>市街地の交通混雑の影響が大きく抜本的な対策が緊急的に必要</u>



交通混雑状況



※1：H10～H19年事故原票より算定
※2：交通事故統計年報（(財)交通事故統合分析センター）、交通安全マップ、道路統計年鑑（全国道路利用者会議）から、一般国道を対象とし、1kmあたりの事故件数から算定（H10～H19平均値）

２）事業の目的

当該事業は、

○市街地部の交通混雑の緩和

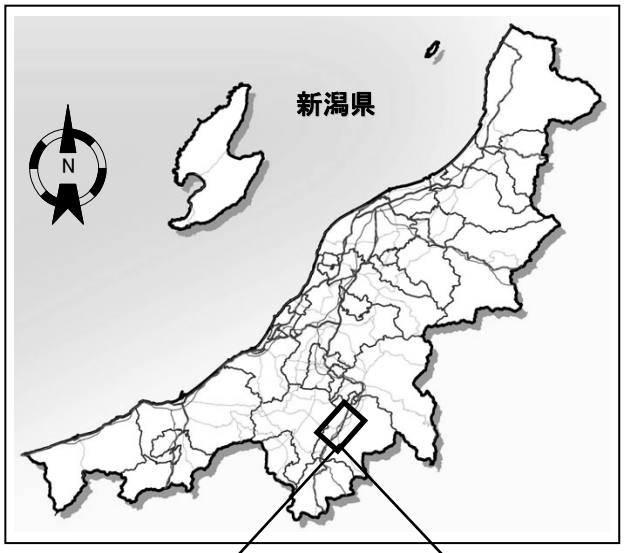
○沿道環境の改善

○市街地部における死傷事故の低減

○救急医療体制の支援

などを目的とし、国道17号の新潟県南魚沼市（みなみうおぬまし） 竹俣（たけのまた）から庄之又（しょうのまた）の延長5.1㎞についてバイパス整備を行うものであり、現在、早期完成供用に向けて事業を実施中である。

【広域位置】

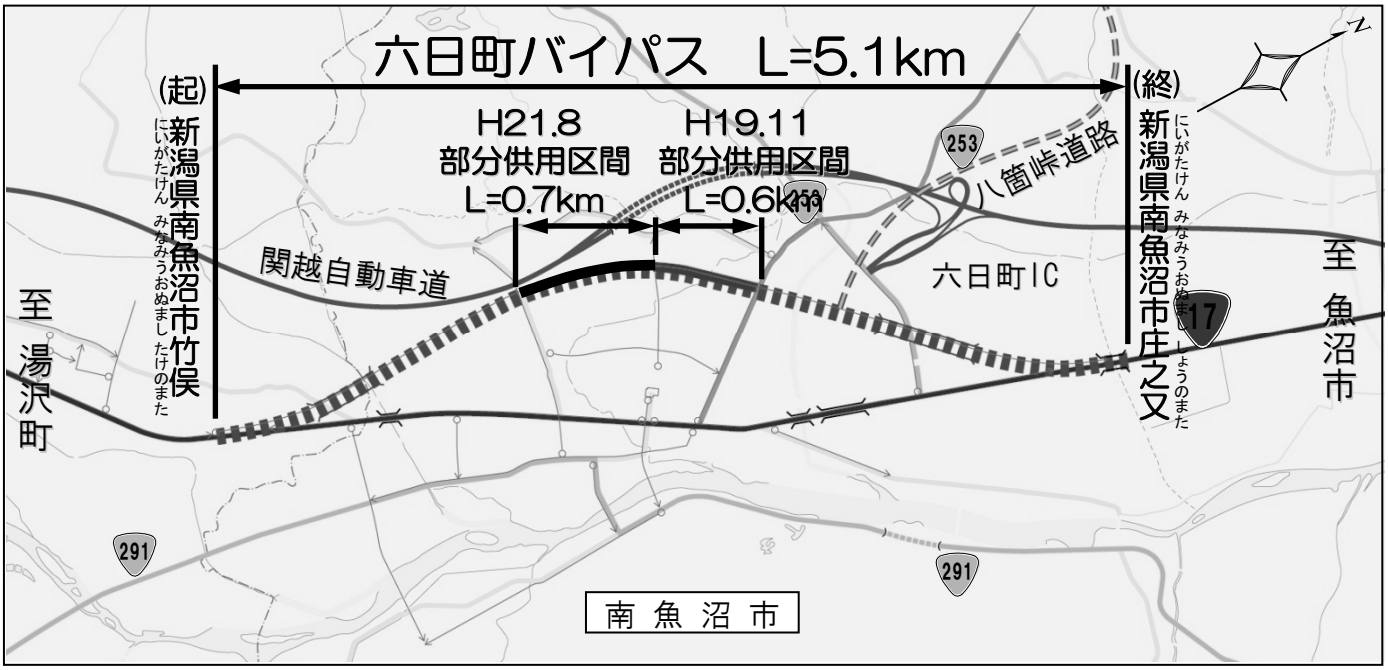


※図中の数値は平成17年道路交通センサス交通量（単位：百台/日）

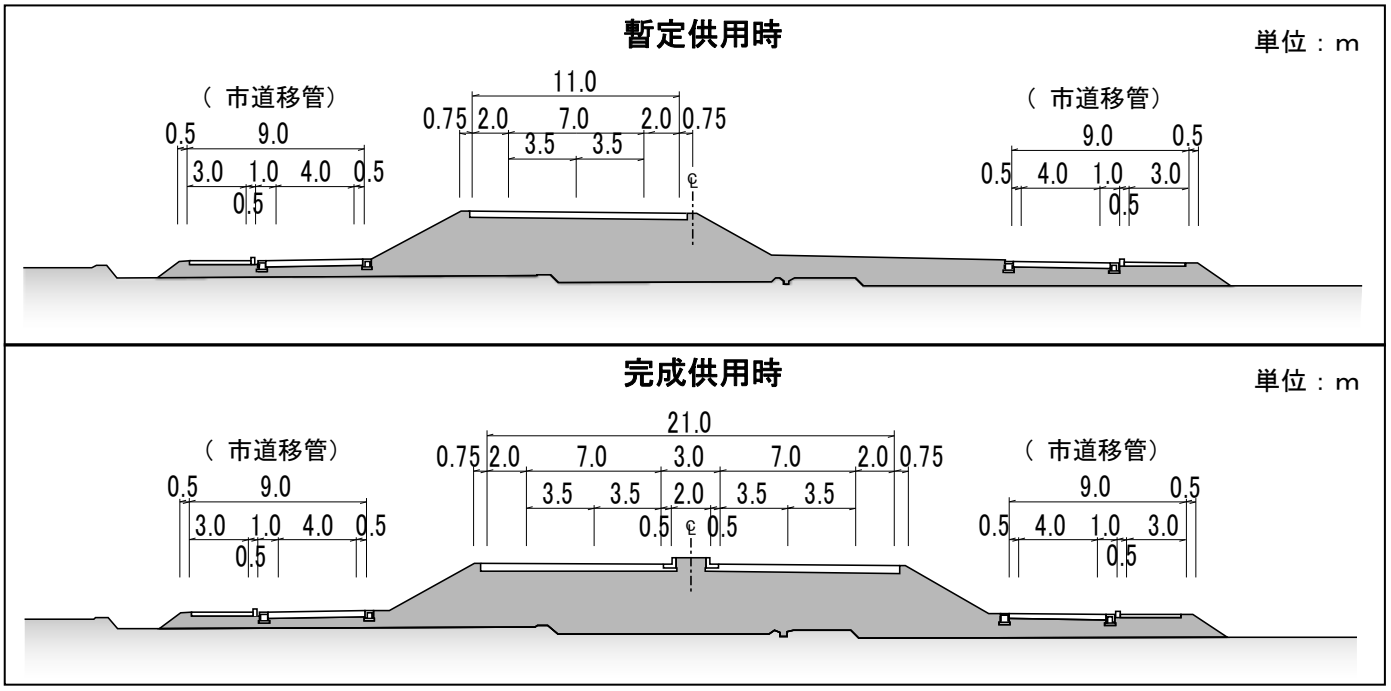
3）事業の概要

●事 業 名：六日町（むいかまち）バイパス
●起 終 点：(起)新潟県南魚沼市竹俣（みなみうおぬましたけのまた）
(終)新潟県南魚沼市庄之又（みなみうおぬましょうのまた）
●事 業 化 ：平成 6年度
●用地着手 ：平成10年度
●全体事業費：340億円
●平成22年度までの投資額：154億円（進捗率約45%）

●延 長 ： 5.1km
●ルート承認 ：昭和62年度
●都市計画決定 ：平成 5年度
●工事着手 ：平成12年度



【横断図】



２.現在に至る経緯等

１）事業の経緯

年　度	主な経緯
H5	都市計画決定
H6	事業化
H10	用地着手
H12	工事着手
H19.11.23	南魚沼市余川地先　　暫定２車線供用開始　L=0.6km
H21. 8.24	南魚沼市小栗山地先　暫定２車線供用開始　L=0.7km
H23. 2. 1	総点検結果　事業全体B/C=0.8、残事業B/C=1.7

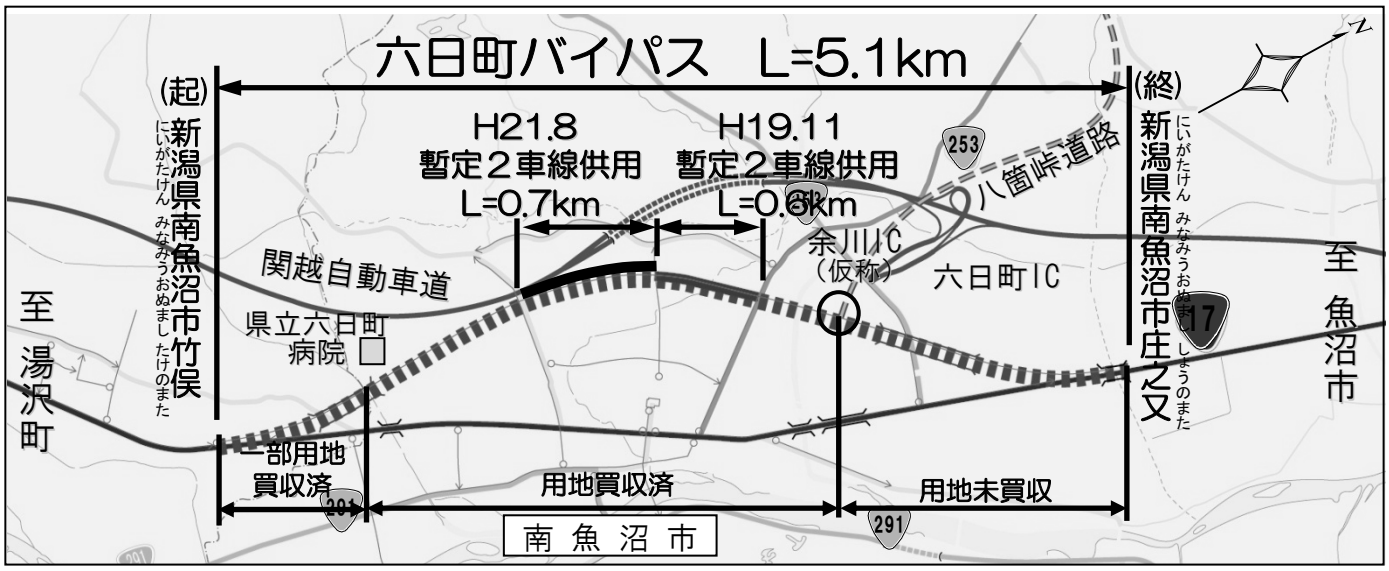
２）事業の進捗状況

平成22年度末現在

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	340億円	154億円	45.4%	186億円
うち用地費・補償費	147億円	97億円	66.0%	50億円

○用地買収進捗状況

・県立六日町病院付近～八箇峠道路接続IC、余川IC（仮称）付近は概ね用地買収済み。
・起点～県立六日町病院付近は一部用地買収済み、余川IC（仮称）付近～終点は用地未買収。

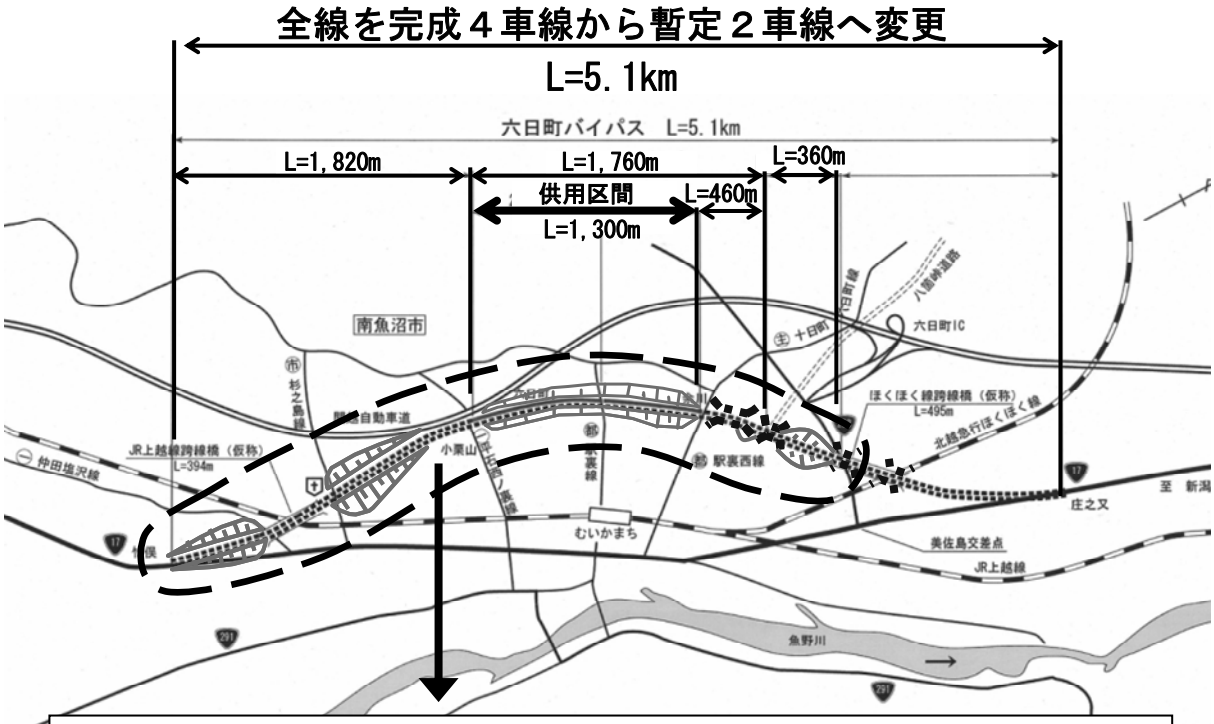


工事進捗状況

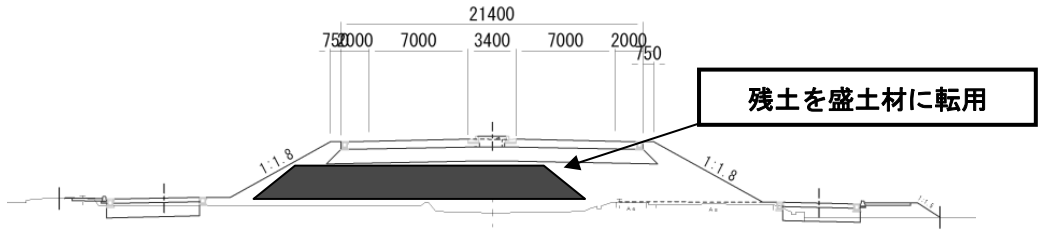
３．事業内容の見直し（コスト縮減策）

【コスト縮減内容】
他工事との調整を図りながら、以下の見直しを行いコストを縮減。
〇事業内容の見直し
　当面の事業内容として、全線（L=5.1km）を完成４車線から暫定２車線へ変更
　【縮減額　約35億円】
〇施工方法の見直し
　　八箇峠道路との事業調整を行い、トンネル掘削残土を盛土材に有効利用。
　【縮減額　約3億円】

【コスト縮減後の事業費】：302億円



■盛土部におけるコスト縮減案（他工事のトンネル掘削残土を盛土材に利用することで約3億円を削減）



断面図

〇見直し後の事業費

平成22年度末現在

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	302億円	154億円	48.8%	148億円
うち用地費・補償費	147億円	97億円	66.0%	50億円

４．前回再評価からの変更点

○主な変更内容

供用区間

①暫定２車線供用区間が平成21年8月に0.7km延伸し、1.3km供用済み

便益に関する主な変更内容

●各交通分野の将来交通需要推計手法の改善（第１段階）により変更

項　目		H20再評価	今回再評価
供用区間		０．６km	１．３km
計画交通量		15,000～19,600台/日※1	8,700～12,900台/日※2
事業費		３４０億円	３０２億円
車線数		完成４車線	暫定２車線
便益（Ｂ）	全体	４１７億円※3	２１５億円※4
	残	４０６億円※3	１８６億円※4
費用（Ｃ）	全体	３２０億円	２９３億円
	残	１６６億円	１０９億円
Ｂ／Ｃ	全体	１．３	０．７
	残	２．４	１．７

※1　H42推計（H17道路交通センサス）、H23.2.1総点検前
※2　H42推計（H17道路交通センサス）、H23.2.1総点検後
※3　3便益（走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益）
※4　3便益に「冬期便益」「運搬排雪に伴う規制便益」を含む

５.事業の必要性・効果

1）事業を巡る社会情勢等の変化

a）客観的評価指標

【一般国道（二次改築）】

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	(1) 事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている。

●事業の効果や必要性を評価するための指標

Ⅰ．活力	(1) 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる
		□ 拠点空港（会社管理空港、国管理空港、特定地方管理空港）、地方管理空港もしくはその他の空港・共用空港へのアクセス向上が見込まれる
	(2) 物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する
	(3) 都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
		□ 中心市街地内で行う事業である
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する
		□ 対象区域が現在連絡道路がない住宅宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる
	(4) 国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道（A’路線）としての位置づけ有り
		□ 地域高規格道路の位置づけあり
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A’路線としての位置づけがある場合）
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
		□ 現道等における交通不能区間を解消する
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	(5) 個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である

Ⅱ．暮らし	(1) 歩行者・自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
		□バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される
	(2) 無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけあり
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する
	(3) 安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
Ⅲ．安全	(1) 安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される
	(2) 災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり
		□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
		□ 並行する交通ネットワークの代替路線として機能する（A’路線としての位置づけがある場合）
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する
Ⅳ．環境	(1) 地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	(2) 生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される
Ⅴ．その他	(1) 他のプロジェクトとの関係	■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり
		□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている
	(2) その他	■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる

※〇印の指標は定量的な記述により効果を確認する。
　□印の指標については定性的または定量的な記述により効果の有無を確認する。
※●、■は該当する指標を示す。

○再評価実施時点における評価指標該当項目

前提条件
(1) 事業の効率性（コスト縮減後のＢ／Ｃ）
　Ｂ／Ｃ＝0.7（事業全体の費用対効果）
　Ｂ／Ｃ＝1.7（残事業の費用対効果）

Ⅰ．活力
(1) 円滑なモビリティの確保
・現道等、及び費用便益分析範囲における渋滞損失時間の削減。「Ｐ８～９に詳述」
（現道＋バイパス：整備なし 26.3万人時間／年 → 整備あり 17.9万人時間／年　削減率 31.9%
費用便益分析範囲：整備なし 635.1万人時間／年
→ 整備あり 607.0万人時間／年　削減率 4.4%）
・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度が改善。「Ｐ８に詳述」
（現道：現況(H21) 15.2km/h　→　整備あり【現道】　37.3km/h　12.0km/h向上
→）整備あり【バイパス】　43.8km/h　18.5km/h向上）
・現道に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在。「Ｐ１４に詳述」
（小出～浦佐～六日町線　運行本数　21本/日、六日町～石打～湯沢線　運行本数　22本/日、
JR浦佐駅～JR六日町駅間：整備なし　31.8分　→　整備あり　29.2分　短縮率　8%）
・特急停車駅へのアクセス向上。「Ｐ１４に詳述」
（塩沢庁舎～JR六日町駅：整備なし　13.1分　→　整備あり　9.2分　短縮率　30%）

(4)国土・地域ネットワークの構築
・日常活動圏中心都市へのアクセス向上。「Ｐ１５に詳述」
（塩沢庁舎～六日町市街地（南魚沼市役所）：整備なし　13.1分→整備あり　9.2分　短縮率30%）

(5)個性ある地域の形成
・主要な観光地（上越国際スキー場）へのアクセス向上。「Ｐ１８に詳述」
（関越自動車道六日町IC～上越国際スキー場：整備なし21.1分 → 整備あり17.3分　短縮率18%）

Ⅱ．暮らし
(3) 安全で安心できるくらしの確保
・三次医療施設（魚沼基幹病院）へのアクセス向上。「Ｐ１６に詳述」
（塩沢庁舎～魚沼基幹病院（計画）：整備なし 27.2分 → 整備あり 23.4分　短縮率　14%）

Ⅲ．安全
(2) 災害への備え
・現道が「地震防災緊急事業５ヶ年計画」において第一次緊急輸送道路として位置づけあり。

Ⅳ．環境
(1) 地球環境の保全
・自動車からのCO2排出量削減。
（費用便益分析範囲：整備なし 26.9万t-CO2／年 → 整備あり 26.7万t-CO2／年
約0.2万t-CO2／年削減、削減率 0.9%）
(2) 生活環境の改善・保全
・自動車からのNO2排出量削減。
（現道：整備なし 14.0t-NOx／年 → 整備あり 10.9t-NOx／年　3.1t-NOx／年削減　削減率 22.2%）
・自動車からのSPM排出量削減。
（現道：整備なし 1.34t-SPM／年 → 整備あり 1.05t-SPM／年 0.3t-SPM／年削減、削減率 21.7%）
・夜間騒音の低減。「Ｐ１９に詳述」
（現道：整備前 70dB → 整備後 66dB　4dB低減）

Ⅴ．その他
(1) 他のプロジェクトとの関係
・国道253号八箇峠道路と一体的に整備する必要がある。
(2) その他
・死傷事故件数の低減。「Ｐ１０に詳述」
（現道：整備なし 24.6件／年 → 整備あり 22件／年　21.6件低減　削減率　11%）

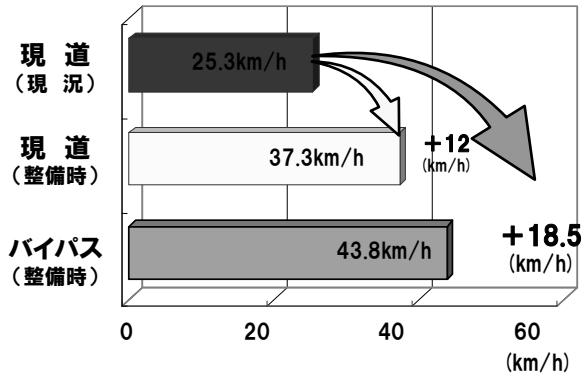
６．当該道路の役割・効果（コスト縮減後の新たなＢ／Ｃ）

１）整備効果

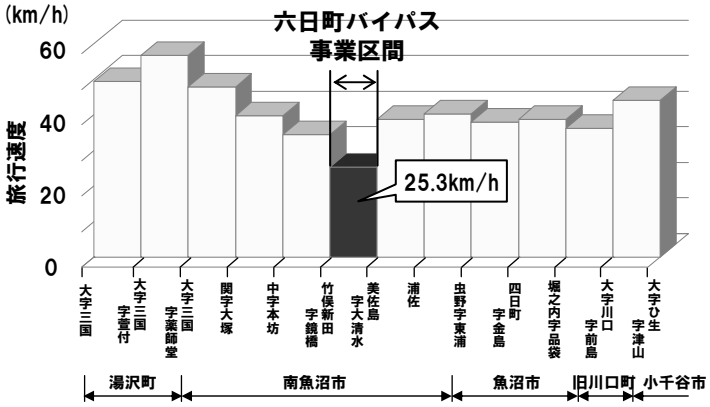
① 走行時間の短縮

○　六日町バイパス現道区間で混雑時旅行速度が低下しており、20km/h未満である区間が存在する。
○　六日町バイパスの整備により、円滑な走行環境が確保され、混雑時の旅行速度が約18km/h（25.3km/h⇒48.3km/h）向上する。

混雑時旅行速度の改善



国道17号の混雑時旅行速度



※調査日：H19.11.13（火）

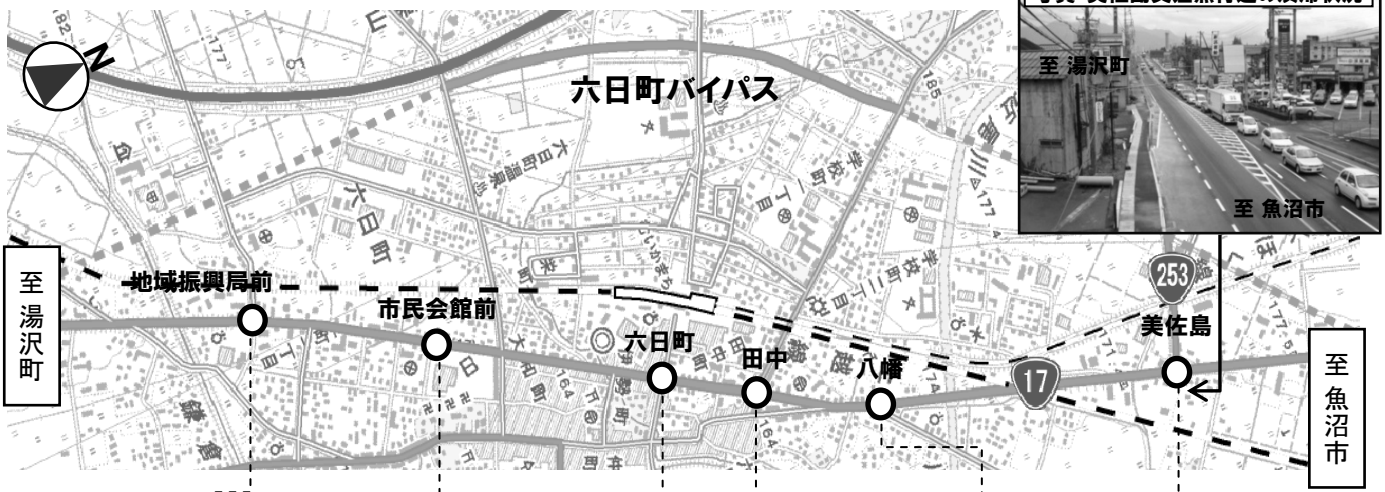
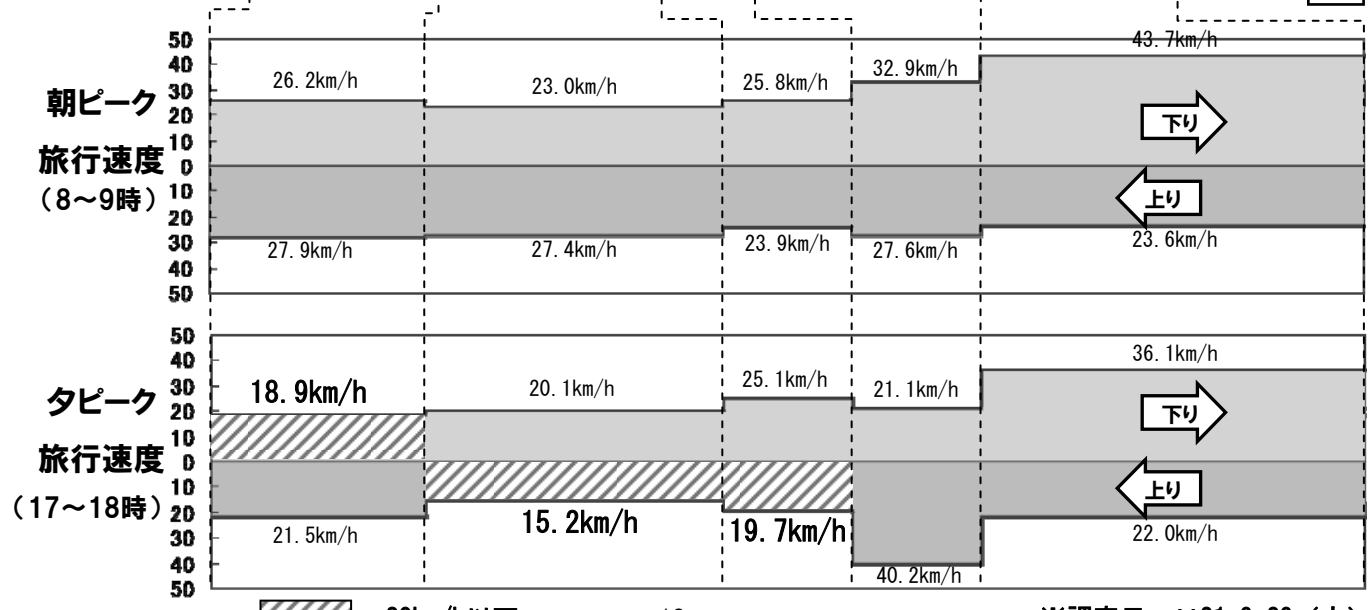


写真:美佐島交差点付近の渋滞状況



：20km/h以下

※調査日：H21.9.29（火）

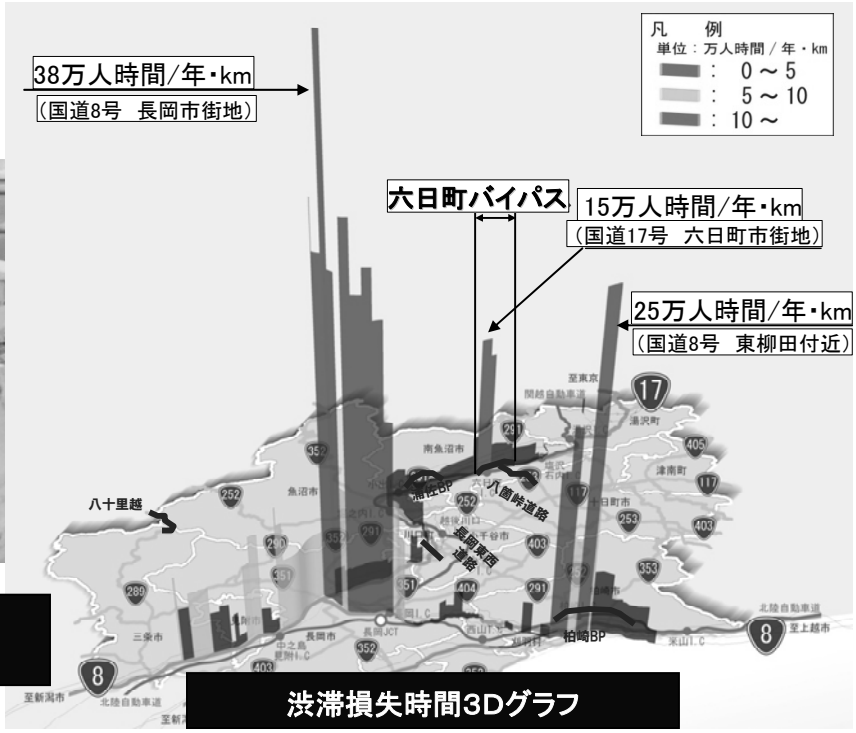
②渋滞損失時間の減少

○ 現道の渋滞損失時間は、長国管内のワースト6位。（直轄国道、センサス単位）
○ 六日町バイパスの整備により安全な走行環境が確保され、便益算定範囲の渋滞損失時間が28万人・時間削減される。

至 長岡市

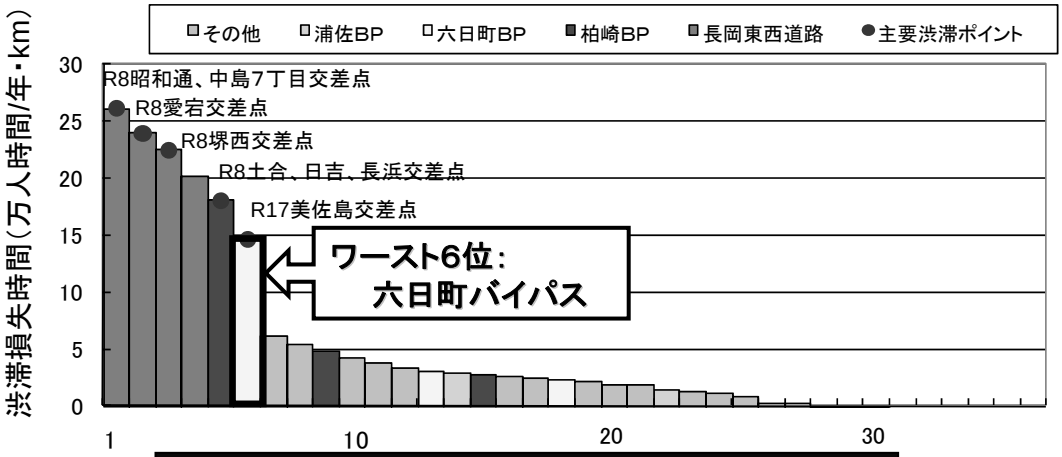
至 湯沢町

現道の渋滞状況
【六日町地先付近】（湯沢方面を望む）



渋滞損失時間3Dグラフ

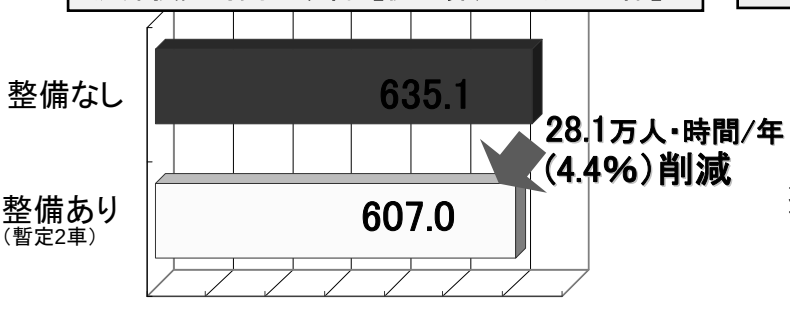
資料：H21渋滞損失時間



センサス区間別渋滞損失時間の優先度明示グラフ
【長岡国道事務所管内・直轄国道】

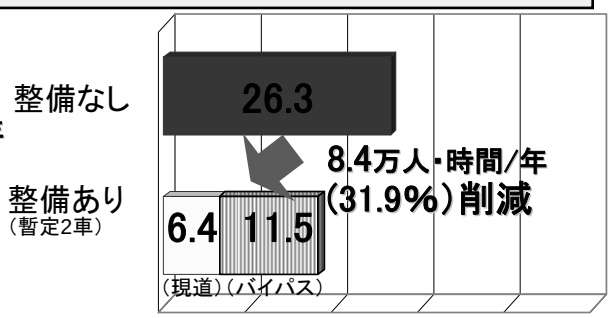
資料：H21渋滞損失時間

渋滞損失時間の改善【便益算定エリア全体】



（万人・時間/年）

渋滞損失時間の改善【現道＋バイパス】

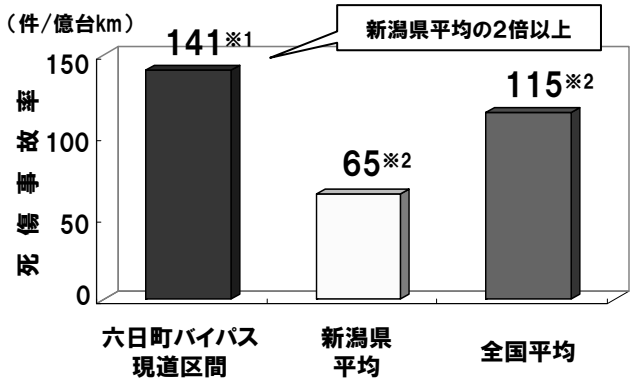


（万人・時間/年）

③ 交通事故件数の減少

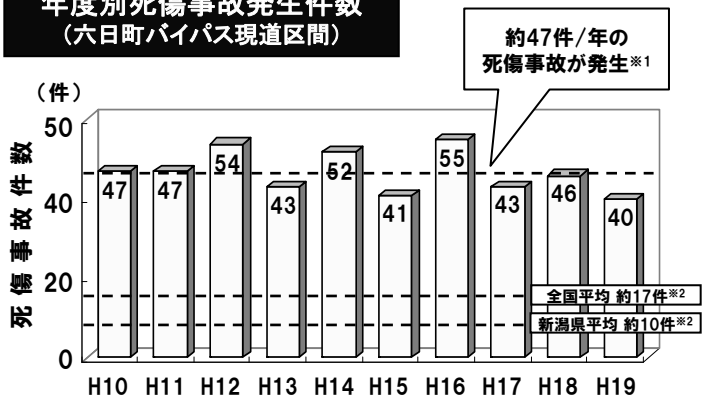
○ 現道の美佐島交差点付近の死傷事故率は、長国管内のワースト３位。
○ 六日町バイパスの整備により、安全な走行環境が確保され、現道区間の事故件数が年間約２件削減される。

六日町市街地の死傷事故率



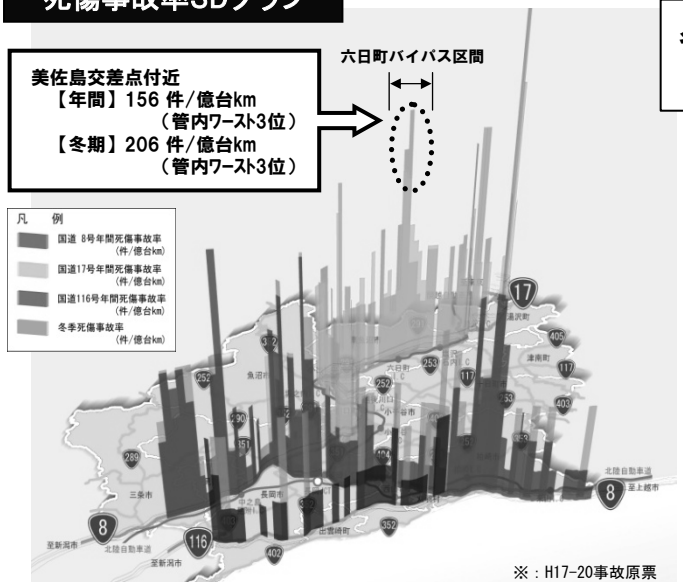
※1：H10～H19年事故原票より算定
※2：H18年度達成度報告書（道路局HP）

年度別死傷事故発生件数（六日町バイパス現道区間）



※1：H10～H19年事故原票より算定
※2：交通事故統計年報（(財)交通事故統合分析センター ）、交通安全マップ、道路統計年鑑（全国道路利用者会議）から、一般国道を対象とし、1kmあたりの事故件数から算定（H10～H19平均値）

死傷事故率3Dグラフ

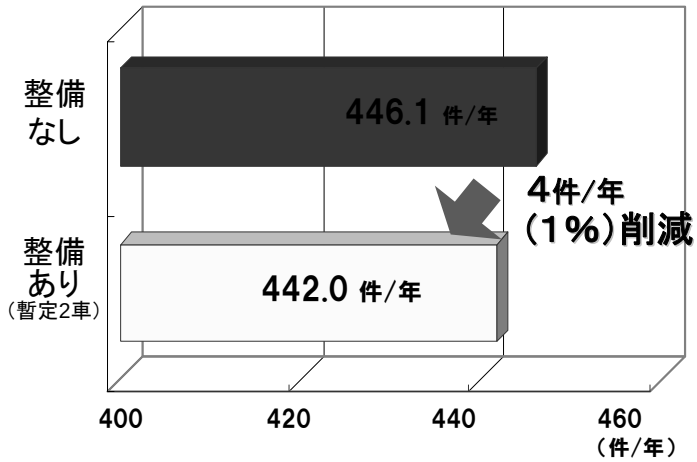


冬期間は雪堤で視界が遮られ、事故発生の危険大

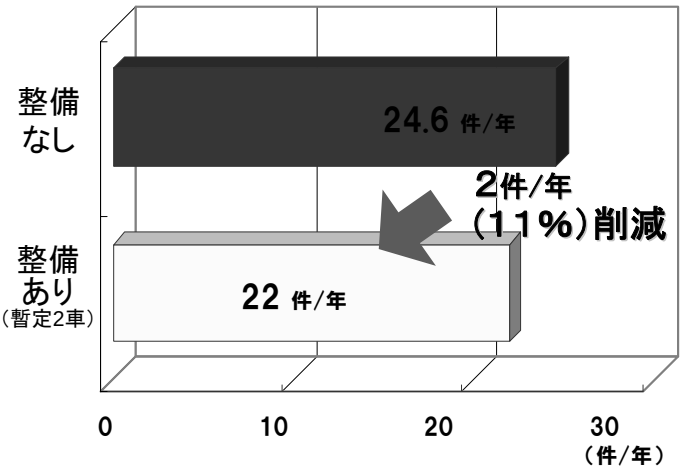
写真：冬期間の南魚沼市街地の状況

交通事故件数の改善

【便益算定エリア全体】



【六日町バイパス現道区間】



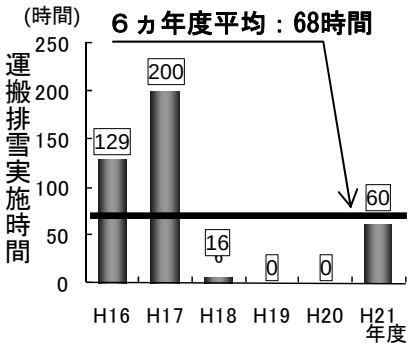
④ 冬期におけるスムーズな交通の確保

○　当該地域は、日本有数の豪雪地域であり、冬期は路面状況の悪化に加え、路肩の堆雪を運搬排雪（H17年度　200時間）する必要があり、これらによる交通障害が発生している。
○　六日町バイパスの整備により、冬期間における円滑な交通の確保が期待されるとともに、安全性・信頼性が向上する。

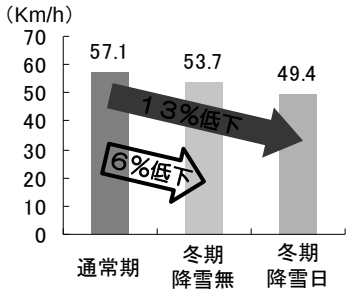
冬期の現道の状況

現道における運搬排雪作業状況（片側交互通行規制）

現道区間の運搬排雪実施状況



北陸管内の冬期速度低下
冬期降雪日13%低下
冬期降雪無　6%低下



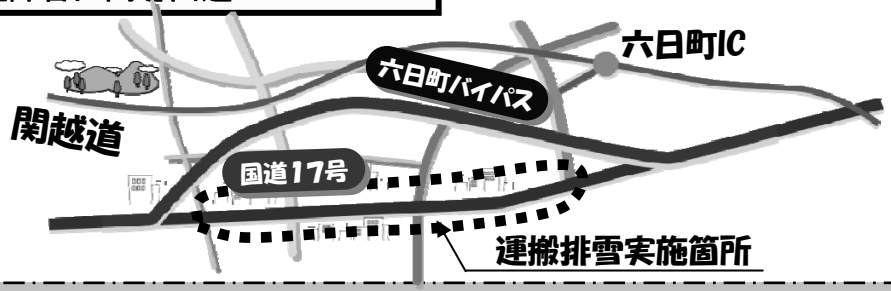
※北陸管内(直轄)全27箇所の平均

冬期間の降雪日数

	冬季			通常期
	（降雪初日～終了の日数）	うち、降雪日数	うち、降雪日以外	
H21	107	68	39	258
H20	134	85	49	231
H19	141	117	24	224
H18	114	80	34	251
H17	155	122	33	210
H16	124	112	12	241
H15	113	102	11	252
H14	155	114	41	210
H13	119	102	17	246
H12	128	112	16	237
10箇年平均	129	101.4	27.6	236

※出典:気象庁HP＞気象統計情報　湯沢観測所

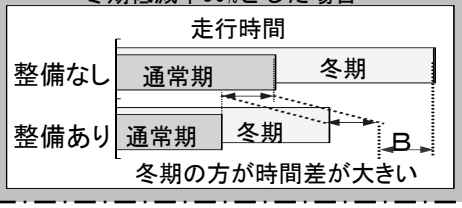
六日町バイパス整備で除雪による交通障害区間を回避



○冬期の積雪等による影響を考慮した便益の考え方

Ｂ＝冬期走行の短縮時間　×　冬期日数
　　×（走行時間費用＋走行経費）
　＝３．２億円（１．１億円）　　全体（残事業）

整備あり60km/h、整備なし40km/h、
冬期低減率50%とした場合



○現道区間の運搬排雪に伴う規制による影響を考慮した便益の考え方

Ｂ＝運搬排雪による走行時間の増加×運搬排雪時間×走行時間費用
　＝０．８億円（０．８億円）　全体（残事業）

※金額は、供用後50年間の便益

２）事業の投資効果

○便益算定根拠　※出典:「費用便益分析マニュアル」H20年11月国土交通省

①走行時間短縮便益

○六日町バイパスの整備により、走行時間短縮による年間１６億円の便益が発生する。
○供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると１８０億円と算出される。

【走行時間短縮便益】
＝整備前総走行時間費用－整備後総走行時間費用
＝16(億円/年)※　※完成供用年次の便益

総走行時間費用＝Σ Σ[路線別車種別交通量(台/日)×路線別走行時間(分)
×車種別時間価値原単位(円/台・分)]×365(日/年)

割引率等を考慮

180億円

(円/台・分)

車種	時間価値原単位
乗用車	40.10
バス	374.27
乗用車類	45.78
小型貨物車	47.91
普通貨物車	64.18

②走行経費減少便益

○六日町バイパスの整備により、走行経費減少による年間２．８億円の便益が発生する。
○供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると３１億円と算出される。

【走行経費減少便益】
＝整備前総走行経費－整備後総走行経費
＝2.8(億円/年)※　※完成供用年次の便益

総走行経費＝Σ Σ[路線別車種別交通量(台/日)×路線別延長(km)
×車種別走行経費原単位(円/台・km)]×365(日/年)

割引率等を考慮

31億円

走行経費原単位：一般道(平地)　(円/台・km)

速度(km/h)	乗用車	バス	乗用車類	小型貨物	普通貨物
5	35.60	90.90	36.54	28.30	66.45
10	25.26	75.81	26.11	24.35	56.40
15	21.62	69.79	22.44	22.60	50.96
20	19.69	66.16	20.48	21.44	46.91
25	18.46	63.60	19.23	20.57	43.60
30	17.60	61.64	18.35	19.87	40.83
35	16.97	60.10	17.70	19.30	38.49
40	16.65	59.14	17.37	18.92	36.87
45	16.43	58.42	17.14	18.63	35.59
50	16.29	57.93	16.99	18.42	34.64
55	16.22	57.65	16.92	18.29	34.02
60	16.22	57.58	16.92	18.24	33.75

③交通事故減少便益

○六日町バイパスの整備により、平均事故件数が年間約４件減少し、年間０．３５億円の便益が発生する。
○供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると３．９億円と算出される。

【交通事故減少便益】
＝整備前の交通事故による社会的損失－整備後の交通事故による社会的損失
＝0.35(億円/年)※　※完成供用年次の便益

交通事故による社会的損失＝
Σ Σ〔路線別平均事故件数(件／年)×人身事故1件当たり損失額(円／件)〕

割引率等を考慮

3.9億円

３）費用対効果

・基準年における費用及び便益の現在価値
　現在価値算出のための割引率：４％
　基準年次：平成２２年度
　検討年数：５０年

＜コスト縮減後の費用＞

基準年における現在価値		事業費	維持管理費
事業全体	２９３億円	２７１億円	２３億円
残事業	１０９億円	９２億円	１７億円

＜便益＞

基準年における現在価値		走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益
事業全体	２１５億円	１８０億円※	３１億円※	３．９億円
残事業	１８６億円	１５５億円※	２７億円※	３．８億円

※　冬期の積雪等の影響や運排雪に伴う規制の影響を考慮

＜見直し後の費用便益比＞

費用便益比 Ｂ／Ｃ	
事業全体	２１５億円/２９３億円＝０．７
残事業	１８６億円/１０９億円＝１．７

注）1. 費用及び便益額は整数止めとする。
　　2. 費用及び便益額の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

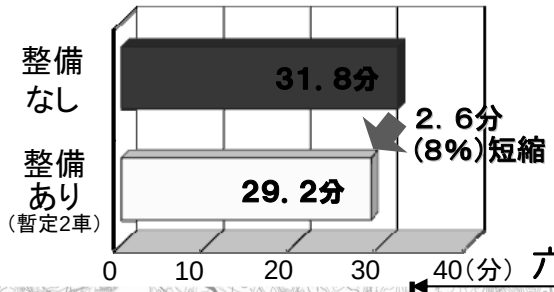
４）その他の効果

①バス路線及び鉄道の利便性向上

○　当該区間の現道は、沿線地域の生活道路として機能しており、六日町市街地と結ぶ路線バスが１日に計４３本が運行されている。
○　また、ＪＲ六日町駅は、魚沼地方生活圏における特急停車駅３駅（他に十日町駅、越後湯沢駅）の１つとなっている。
○　六日町バイパスの整備により、バスの定時性が確保とＪＲ六日町駅へのアクセス性が向上し、公共交通機関の利便性が向上する。

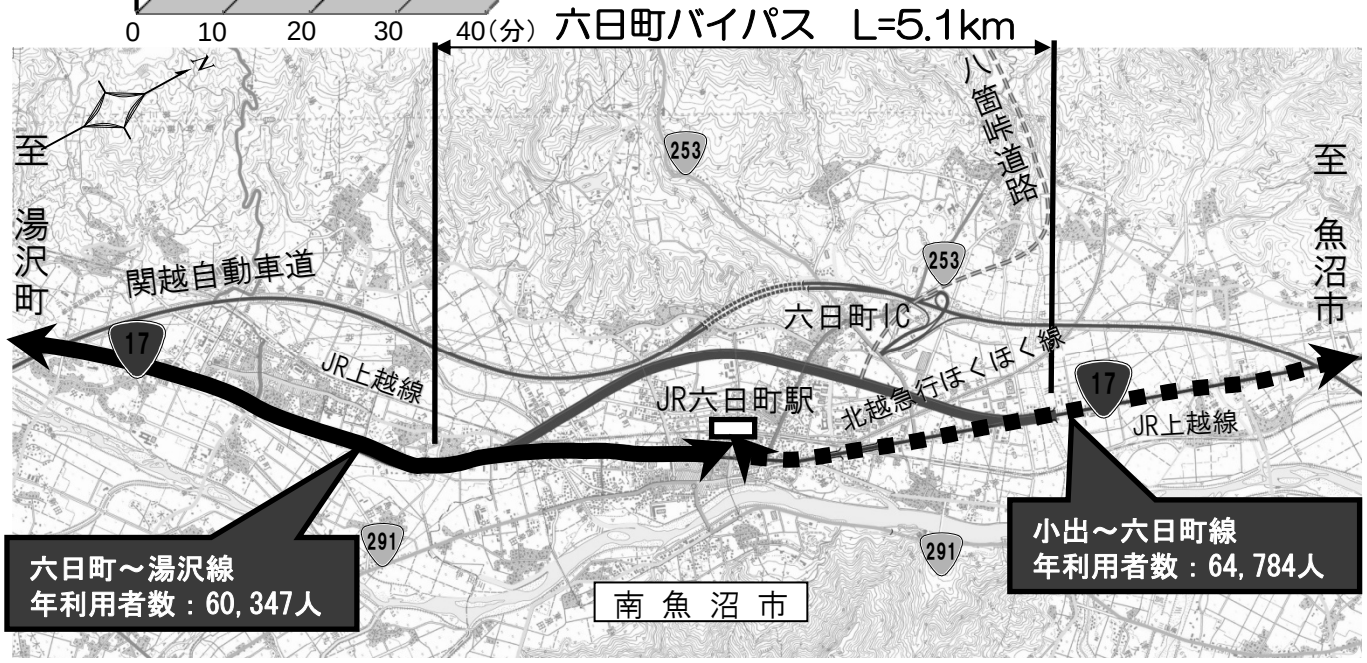
現道のバス路線の利便性向上

【JR浦佐駅～JR六日町駅間の所要時間】
（混雑時）



当該区間のバス運行本数

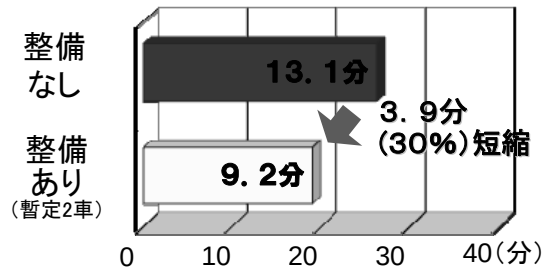
経　　路	１日の運行本数
小出～浦佐～六日町［◀▪▪▪▪▪▶］	２１本／日
六日町～石打～湯沢［◀▬▬▬▶］	２２本／日
当該区間のバス運行本数	４３本／日

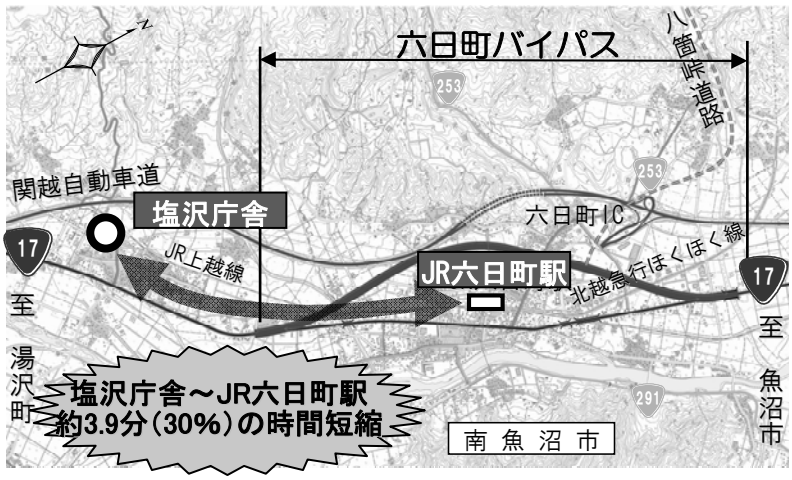


※資料：南越後観光バス

JR六日町駅へのアクセス性向上

【塩沢庁舎～JR六日町駅間の所要時間】
（混雑時）

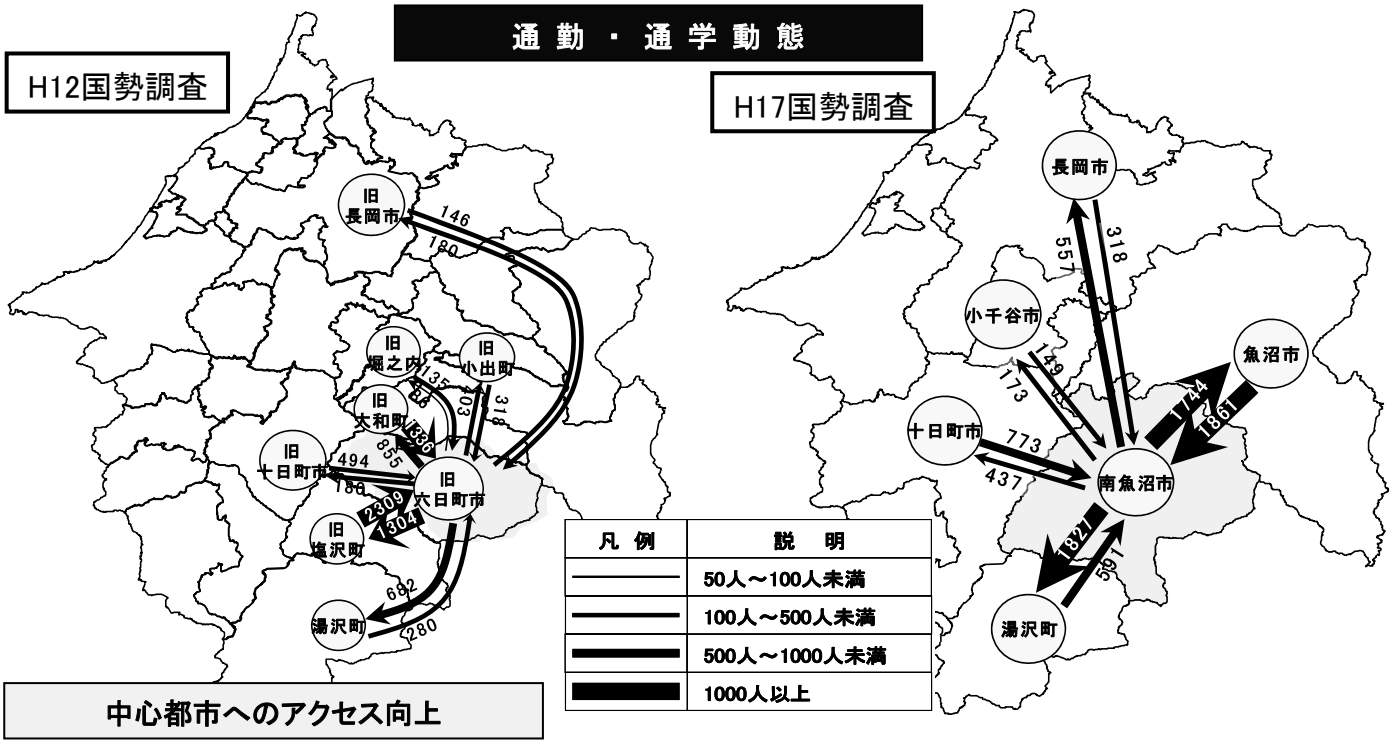




②日常活動圏の中心都市である六日町中心市街地へのアクセス向上

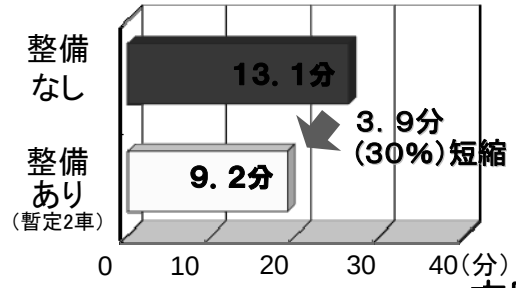
○　国道17号沿線地域と六日町市街地は、日常活動圏として密接なつながりを持つ。
○　六日町バイパスの整備により、国道17号沿線地域と圏域の中心である六日町中心市街地とのアクセス性が向上し、日常生活活動の利便性が向上する。

通 勤 ・ 通 学 動 態

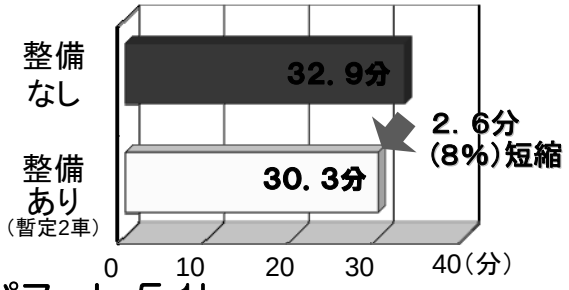


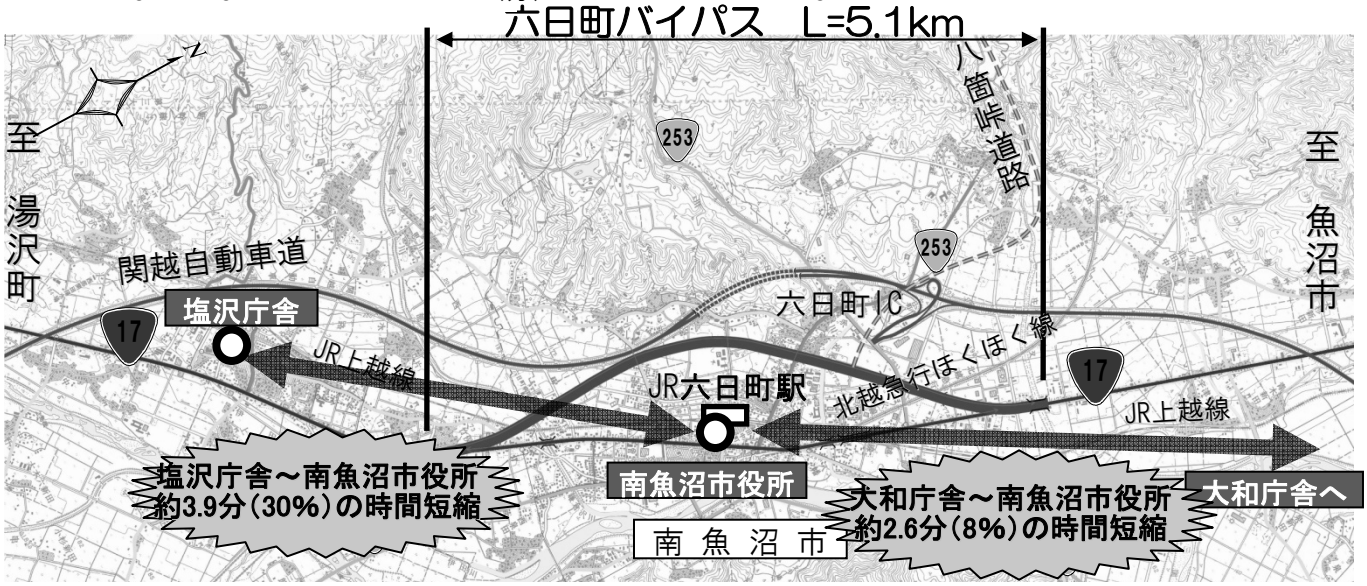
中心都市へのアクセス向上

【塩沢庁舎～南魚沼市役所】（混雑時）



【大和庁舎～南魚沼市役所】（混雑時）

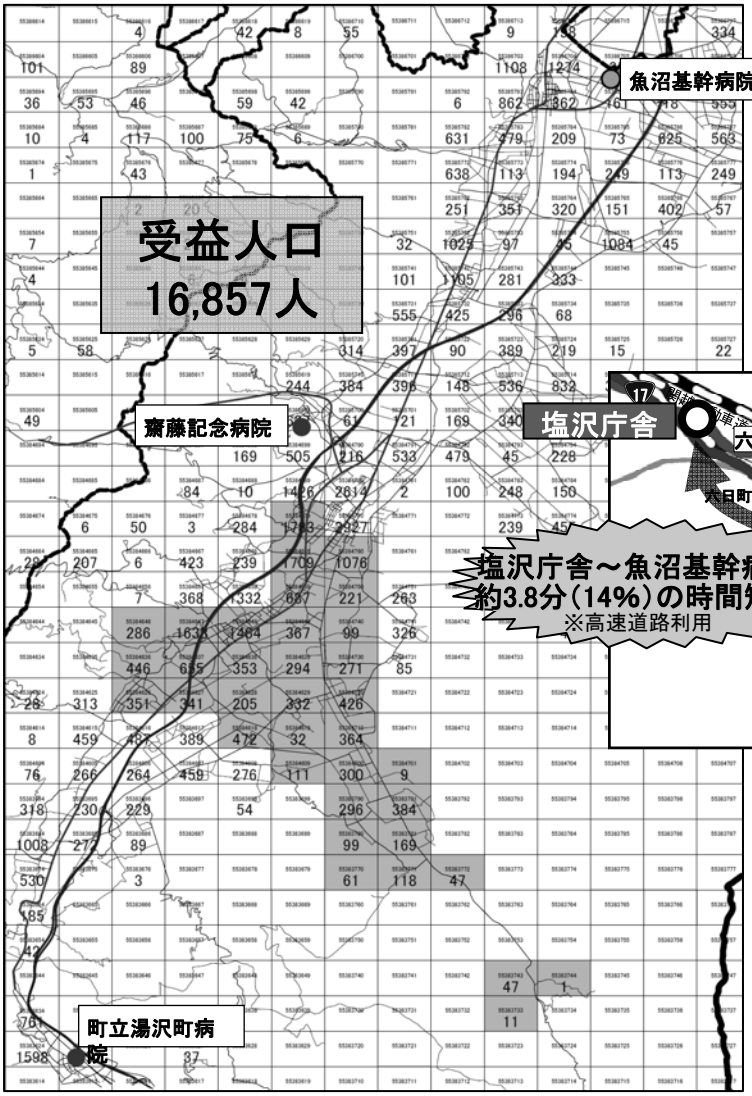




③救命救急施設へのアクセス向上

○ 六日町バイパスの整備により、救命救急アクセス（二次医療施設）が向上する。（時間短縮による受益人口16,857人）
○ また、救命救急センターとなる魚沼基幹病院へのアクセス性が向上し、一刻を争う救急患者の救命を支援する。

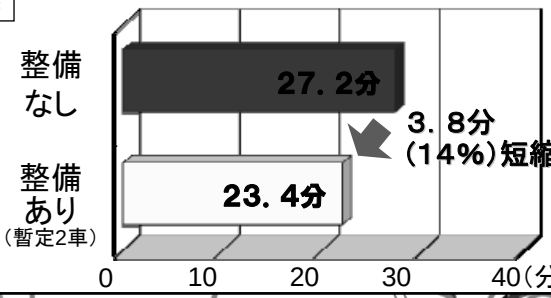
救急救命アクセスにおける自家用車利用時の受益者エリア

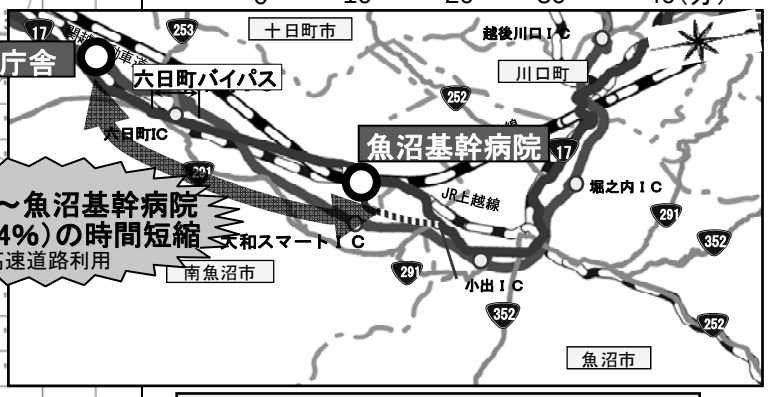


三次医療施設
二次医療施設
内の数値は3次ﾒｯｼｭ人口
1分以上時間短縮が見込まれる地域
（自家用車利用時）

三次医療施設へのアクセス向上

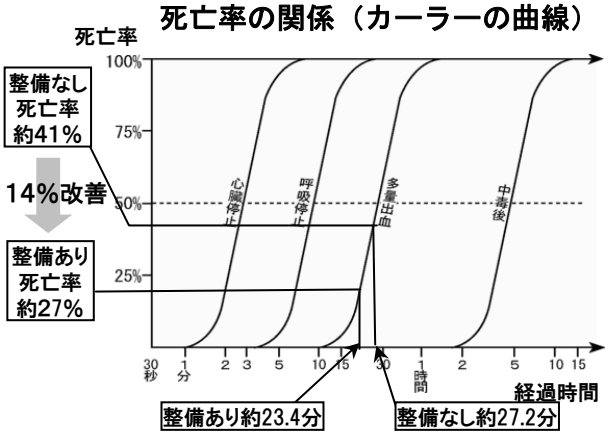
塩沢庁舎～魚沼基幹病院（計画）への時間短縮効果（混雑時）





所要時間短縮による死亡率の改善

緊急事態における時間経過と死亡率の関係（カーラーの曲線）

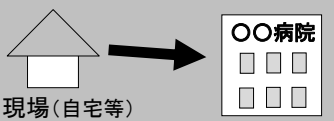


○救急医療へのアクセス向上便益を仮に試算する場合の考え方

救命救急アクセス向上エリア人口 × 疾病発生率
× 時間短縮による死亡改善率 × 人命価値
＝事業全体 9億円　残事業　4億円

※金額は、供用後50年間の便益額として試算した（参考値）

自家用車等による病院搬送時間に着目



自家用車利用時エリア人口	16,857人
人命価値	2．26億円／人

④ 救急医療体制の再構築

〇新潟県では魚沼地域における医療高度化に向けて、第三次救急医療機関となる「魚沼基幹病院（仮称）」の整備を、平成27年の開院を目指して推進している。
〇同病院の設置場所は南魚沼市の「ゆきぐに大和病院」の付近が有力候補地となっており、六日町バイパスの整備は、円滑な救急搬送を支援することが期待される。
〇また、同病院の設置場所付近には関越自動車道大和PAスマートICが整備されており、六日町ICへのアクセス性を向上する六日町バイパスは、搬送ルートの多様化、それに伴う搬送の確実性・定時性の向上に寄与することが期待される。

「魚沼基幹病院（仮称）」整備スケジュール（新潟県発表　H20.1.23）

平成20年度内	整備基本計画の策定
平成21年度	基本設計
平成22年度	実施設計
平成23年度	着工
平成27年6月ころ	開院

建設通信新聞（H23.2.3）

新潟県の魚沼基幹病院

9階建て延3.3万m²

工事発注 来年度2月議会案件

新潟県は、魚沼基幹病院（仮称）の基本設計の概要と建設スケジュールを明らかにした。分棟形式のRC造9階建て延べ3万3064平方メートルの施設とし、免震構造を採用する。設計者は公募型プロポーザルで選ばれた山下設計・総合設備設計JVで、2月中にも実施設計を随意契約する。工事は2011年度2月議会案件として発注を想定しており、同年度末に着工する。開院時期は15年3月を予定している。

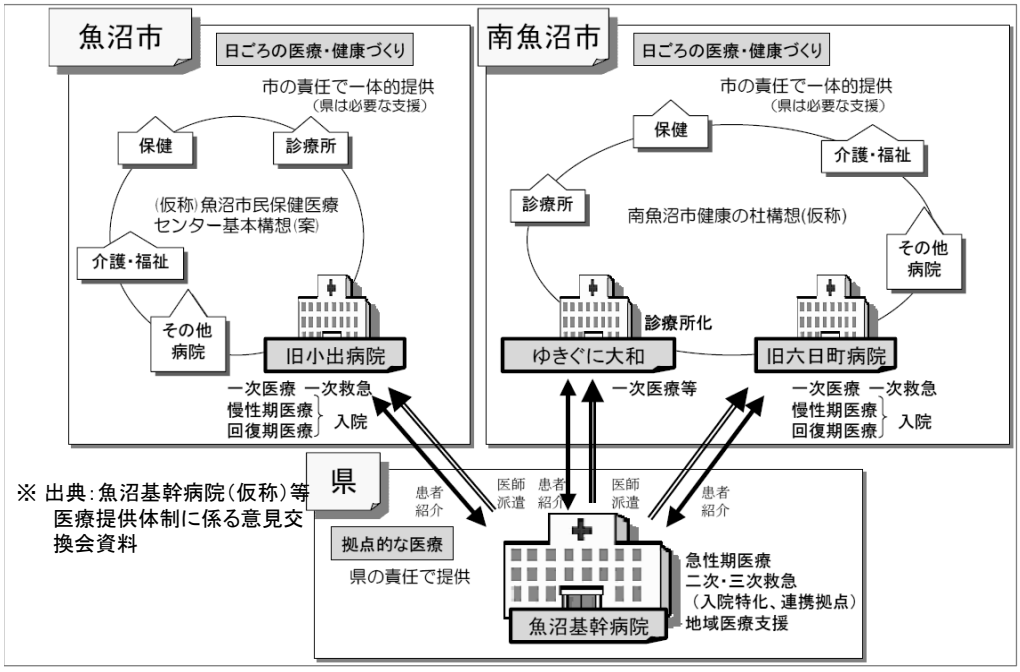
基本設計では、9階建て免震構造の病院棟と2階建て耐震構造のセンター棟からなる建物を計画し、病床数は454床で、事業手法は県が基幹病院を整備し、県が設立する財団法人が指定管理者として運営する公設民営方式を予定している。07年3月に新潟大学と締結した同病院設置に向けた覚書では、高度医療の提供、医師確保、地域医療を実践する医師の育成について、同大と連携・協力することになっている。

建設地は南魚沼市浦佐にある市立ゆきぐに大和病院敷地内。

震設備付きのヘリポートを設置する。

魚沼基幹病院の完成予想

医療提供体制の再構築の考え方イメージ図



※ 出典：魚沼基幹病院（仮称）等医療提供体制に係る意見交換会資料

位置図

⑤主要な観光地へのアクセス向上

○　南魚沼市は、平成21年度の観光入込客数468万人で県下第４位の主要観光地である。
○　新潟県の魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町及び群馬県みなかみ市、長野県栄村の７市町村が、雪国の自然環境と文化の魅力で国際競争力のある一体的な観光圏としての新たな展開を目指している。（「雪国観光圏整備計画」）
○　このなかで、南魚沼市は、雪国観光圏滞在促進地区と位置づけられ、滞在の促進に資する景観整備、情報整備、情報拠点の整備及び交通インフラの整備が喫緊の課題と位置づけられている。
○　六日町バイパスの整備により、国道17号沿線の主要観光施設へのアクセス性が向上する。

【浦佐毘沙門裸押合い祭り】

H21年度観光入込数
327,670人

南魚沼市主要観光地（入込5万人以上）

観光地点名	観光目的	H21年度入込客数(人)
六日町温泉	温泉	123,110
樺野沢温泉	温泉	91,530
八海山ロープウェー	自然景観	118,770
雲洞庵	名所・旧跡	459,800
坂戸城跡	名所・旧跡	226,540
関興寺	名所・旧跡	78,380
魚野の里	産業観光	338,200
アグリコア越後ワイナリー	産業観光	113,660
愛・天地人博南魚沼	まつり・イベント	382,180
南魚沼市雪まつり	まつり・イベント	152,000
浦佐毘沙門堂裸押合大祭	まつり・イベント	115,000
兼続公まつり	まつり・イベント	63,000
塩沢まつり	まつり・イベント	61,000
スキー場	スキー	1,153,430
八海山	登山・ハイキング・キャンプ	52,990
八色の森公園	その他レクリエーション施設	100,740
上越国際プレイランド	その他レクリエーション施設	99,930
泉ヴィレッジ	その他レクリエーション施設	51,160

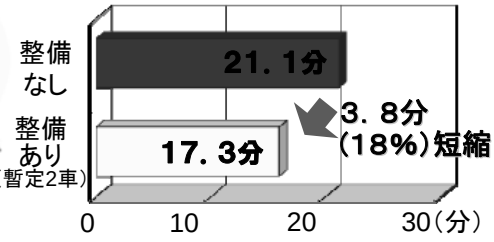
大和SIC、浦佐駅を利用した観光周遊ルート

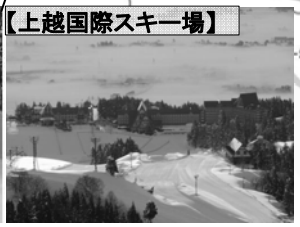
湯沢IC、越後湯沢駅を使用した観光周遊ルート

六日町バイパス

主要観光施設へのアクセス向上

六日町ＩＣ～上越国際プレイランド（スキー場）への時間短縮効果（混雑時）

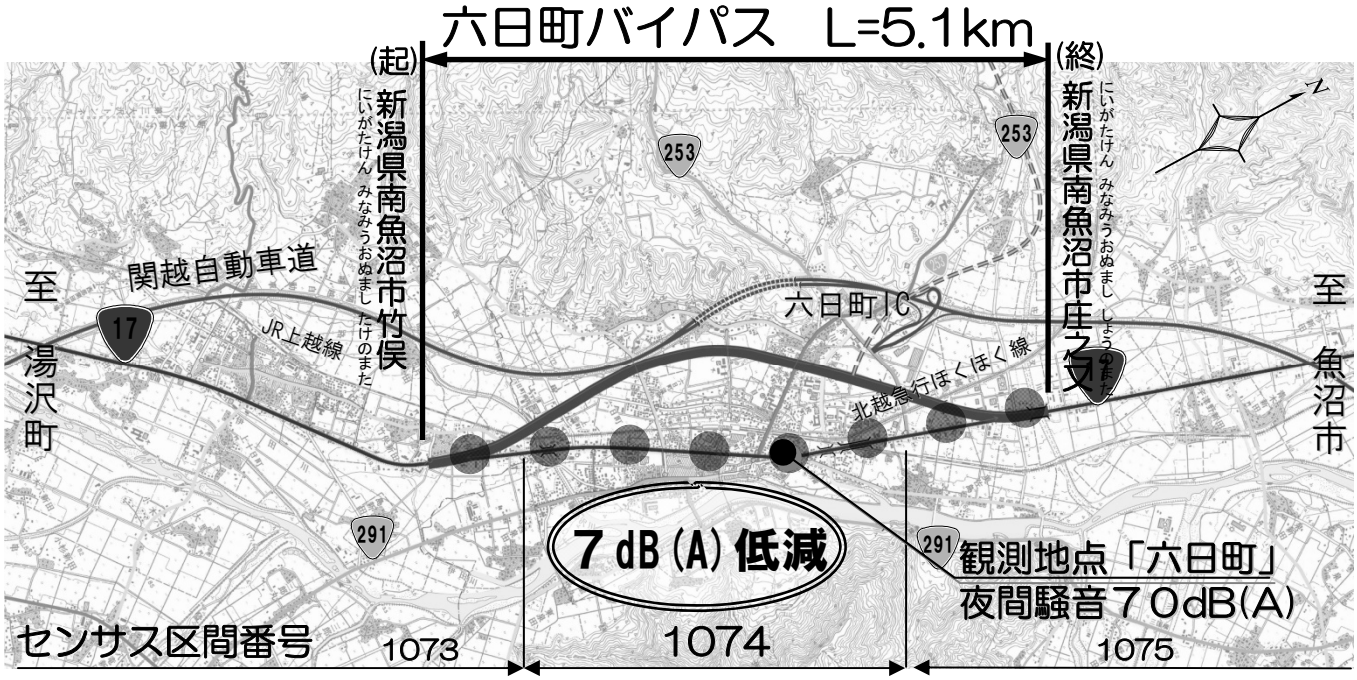




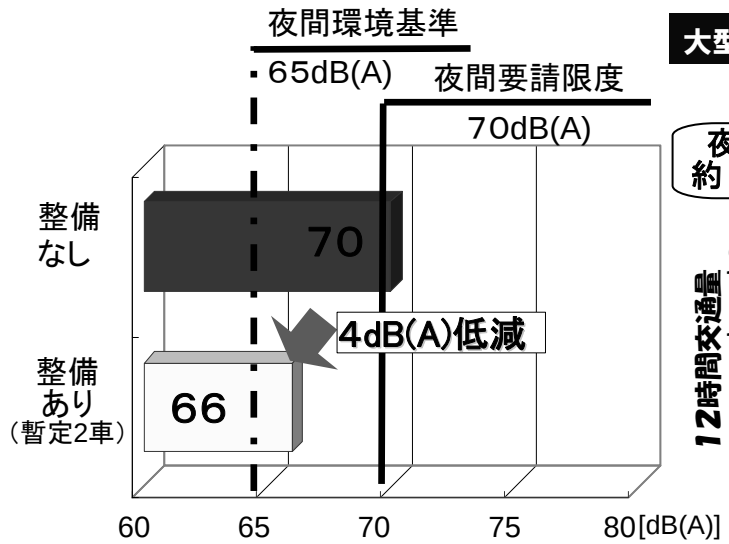
「雪国観光圏整備計画」で位置づけられた主な観光資源

⑥夜間交通騒音の改善

○　現道の夜間騒音は、要請限度と同値の７０［dB(A)］（H21.11調査）である。しかし、H18.11の調査結果では７３［dB(A)］と要請限度を超過していた。
○　当該区間では沿道に住宅等が連担しており、依然として住居環境は劣悪な状態である。
○　六日町バイパスの整備により、国道17号現道部での交通量が減少し、騒音が約４［dB(A)］低減する。

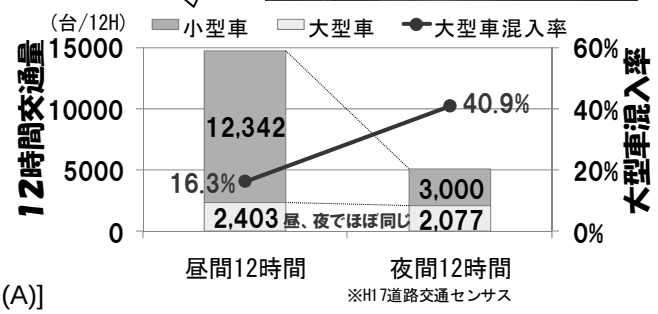


夜間騒音レベルの低減効果



大型車の走行状況

夜間交通量の約４割は大型車



○騒音の低減よる影響を考慮した便益を試算する場合の考え方

Ｂ＝騒音の低減値×沿道状況別貨幣評価原単位
＝８億円（６億円）　全体（残事業）　※便益算定エリア

※金額は、供用後50年間の便益額として試算した（参考値）

⑦物流の効率化支援

○　「まいたけ」は南魚沼市の特産として、全国生産量の約３割を生産しており、全国的にも主要な生産地となっている。
○　最近は生鮮食品のもやし、カット野菜も年間約1,432万ｔ※出荷しており、まいたけ・もやし・カット野菜の生産が南魚沼市の主要産業ともなっている。
○　六日町バイパスの整備により、六日町ＩＣとのアクセス性が向上し、物流に大きく貢献する。

南魚沼市特産品【まいたけ】

南魚沼市は全国生産量の約3割を生産

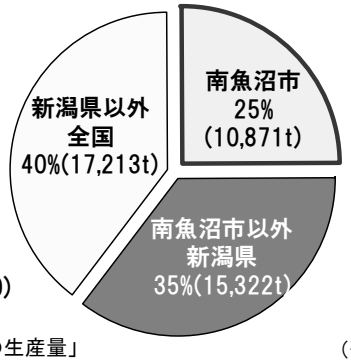
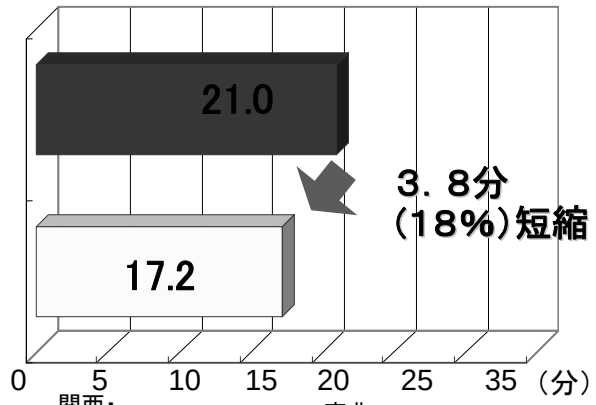


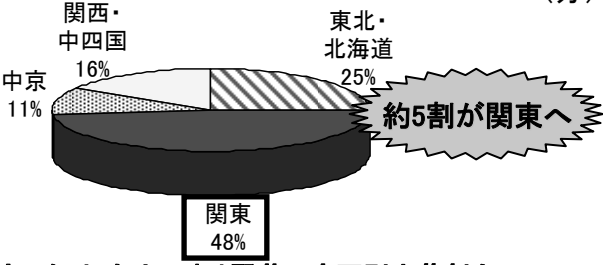
図 まいたけ全国生産量(H20)

資料：JA魚沼みなみ資料
林野庁「特用林産物の生産量」
新潟県農林水産部
「特用林産物需給動態調査結果」

物流のアクセス向上

【雪国バイオフーズ～六日町ＩＣ】
（混雑時）

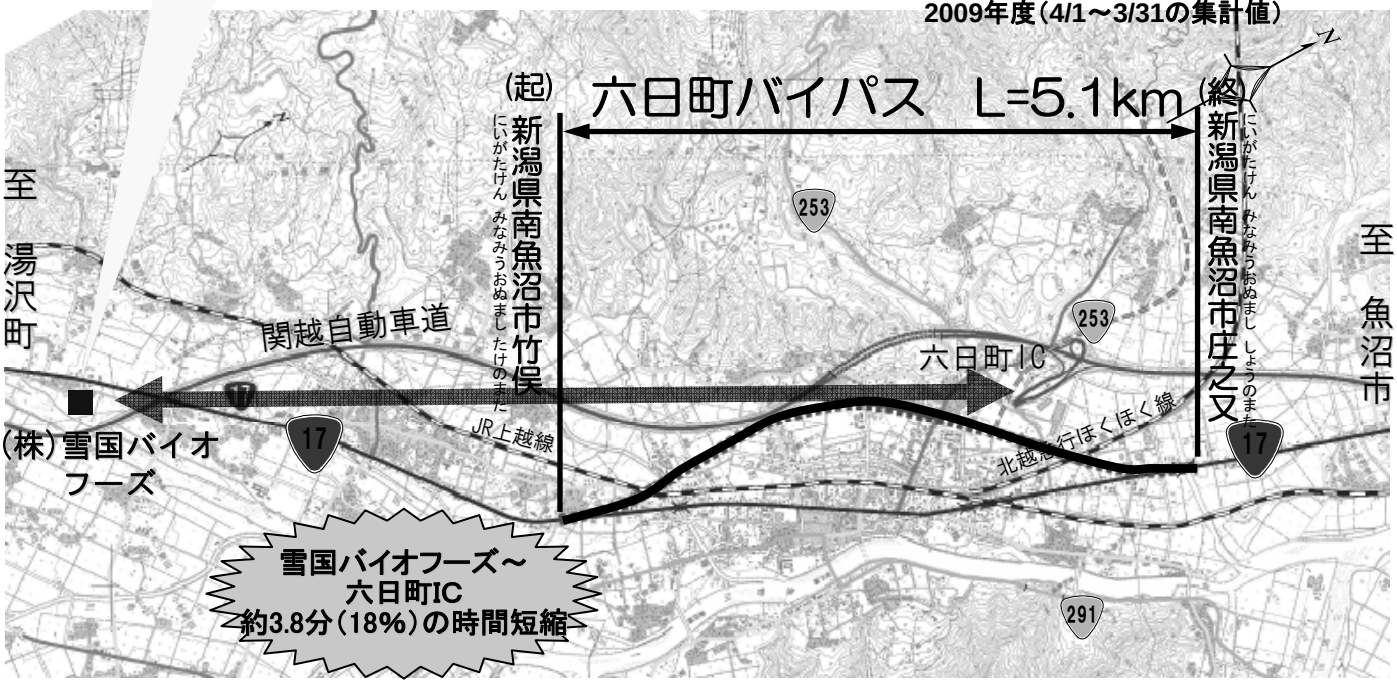




まいたけ・もやし・カット野菜の方面別出荷割合

※年間出荷量・出荷割合：雪国まいたけヒアリング
2009年度（4/1～3/31の集計値）

年間出荷量
約1,432万t※
・カット野菜
・もやし

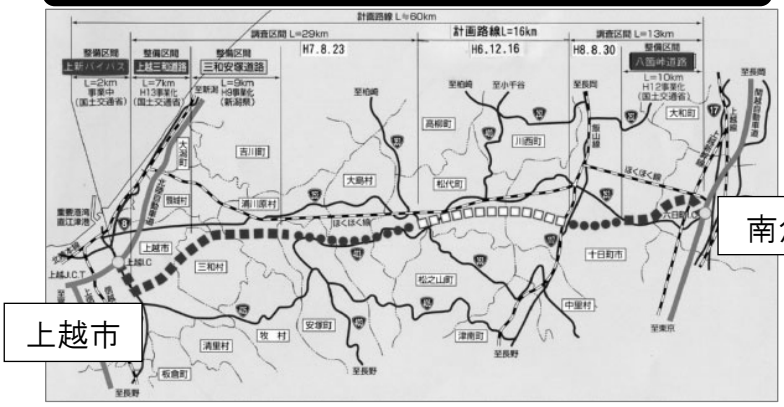


⑧他のプロジェクトとの連携（八箇峠道路）

○　八箇峠道路は、地域高規格道路「上越魚沼地域振興快速道路」の一部であり、十日町市八箇を起点に、南魚沼市余川で六日町バイパスに接続する延長9.7㎞の道路であり、交通の難所である「八箇峠」の交通障害を解消するとともに、十日町生活圏、南魚沼生活圏の地域活性化の促進、一体的な圏域形成を期待するものである。

○　八箇峠道路の効果を最大限に発現するためにも、六日町バイパスを一体的に整備する必要がある。

上越魚沼地域振興快速道路　路線図



国道253号 八箇峠道路　事業概要

事業の概要			
事業名	上越魚沼地域振興快速道路 国道253号 八箇峠道路	道路区分	第1種第3級
区　間	自　新潟県十日町市八箇 至　新潟県南魚沼市余川	車線数	2車線
延　長	9.7Km	設計速度	80Km／h

７．費用対効果

＜コスト縮減後の費用＞

基準年における現在価値		事業費	維持管理費
事業全体	２９３億円	２７１億円	２３億円
残事業	１０９億円	９２億円	１７億円

＜３便益＞

基準年における現在価値		走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益
事業全体	２１５億円	１８０億円※	３１億円※	３．９億円
残事業	１８６億円	１５５億円※	２７億円※	３．８億円

※　冬期の積雪等の影響（全体3.2億円、残1.1億円）や運排雪に伴う規制の影響（全体0.8億円、残0.8億円を考慮

＜その他の便益＞

六日町バイパスの役割	具体的内容	基準年における現在価値	
		事業全体	残事業
①バス路線及び鉄道の利便性向上	◇公共交通機関の利便性向上 ・現道のバス路線の利便性向上 （JR浦佐駅～JR六日町駅間　2.6分短縮　利用者数6.5万人） ・特急停車駅JR六日町駅へのアクセス向上 （塩沢庁舎～JR六日町駅　3.9分短縮）	―	―
②日常生活圏の中心都市へのアクセス向上	◇六日町中心市街地へのアクセス向上 （大和町市役所～南魚沼市役所　2.6分短縮）	―	―
③救命救急施設へのアクセス向上	◇救急救命施設へのアクセス向上 （時間短縮エリア人口　1.7万人） ◇三次医療施設へのアクセス向上 （塩沢庁舎～魚沼基幹病院(仮称)　3.8分短縮）	9億円 （参考値）	4億円 （参考値）
④主要な観光地へのアクセス向上	◇広域的な観光ネットワークの一部形成し、雪国観光圏整備計画を支援 （六日町ＩＣ～上越国際プレイランド　3.8分短縮）	―	―
⑤夜間交通騒音の改善	◇国道17号現道部の騒音が夜間要請限度を下回る （70dB→66dB、4dB低減）	8億円	6億円
⑥物流の効率化を支援	◇主要地場産業のまいたけ、もやし、カット野菜の出荷の効率化を支援 （雪国バイオフーズ（もやし、カット野菜）～六日町ＩＣ　3.8分短縮）	―	―
⑦他のプロジェクトとの連携	◇八箇峠道路と連携し、十日町・南魚沼生活圏の一体的な圏域形成を支援	―	―

※は、供用後５０年間の便益額

＜コスト縮減後の従来3便益の費用便益比＞

費用便益比 B／C	
事業全体	215億円／293億円＝０．７
残事業	186億円／109億円＝１．７

＜その他の便益を加味した費用便益比＞

費用便益比 B／C	
事業全体	（215億円＋α）/293億円
残事業	（186億円＋α）/109億円

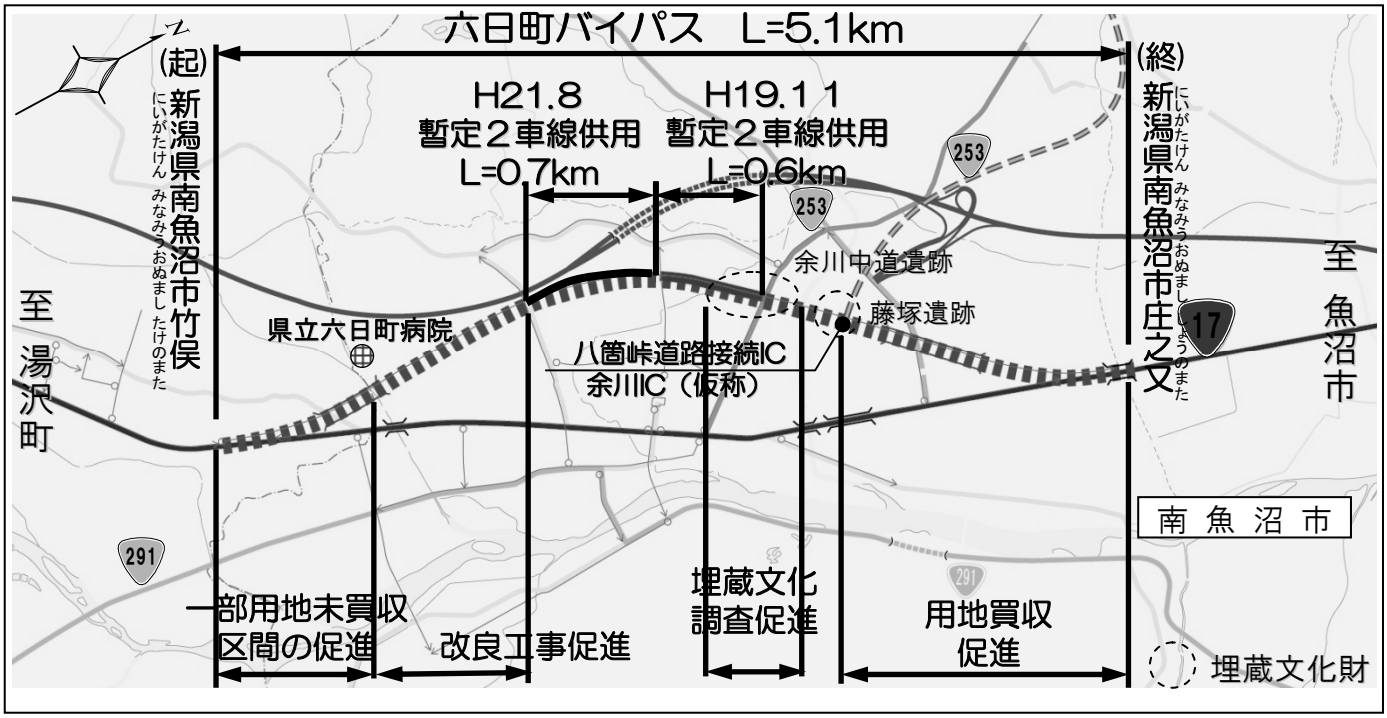
７．事業進捗の見込み

①残事業の内容

・用地買収区間において埋蔵文化財調査。（余川中道遺跡、藤塚遺跡）
・供用区間を除く全線の用地買収。
・Ｌ＝３．８㎞区間改良工事　橋梁　３橋

②今後の事業の見通し等

・埋蔵文化財調査。（余川中道遺跡）
・用地買収促進。



８．代替案等の可能性

・計画路線は地形、土地利用状況、主要幹線道路等との接続などを勘案して決定したものであり、地元や関係機関等との協議によって了解が得られたものである。
・平成19年に余川地先の0.6km、平成21年には小栗山地先の0.7kmを暫定２車線供用し、地元関係機関との協議は約9割了解しており、用地買収は約7割、事業は約5割が完了していることなどから、ルートを変更するなど外の案への代替は困難である。
・今後は、八箇峠道路のトンネルの掘削工程に合わせた残土の受け入れを行いコスト縮減に努めるなどの検討を進めていきたい。

９．対応方針（原案）

対応方針(原案)　　事業継続

(理由)

・国道17号は、東京都から新潟市に至る重要な幹線道路であり、地域の日常生活を支える生活道路である。
・その一部を構成する六日町バイパスは、現道部における慢性的な交通混雑の緩和や死傷事故件数の低減、沿道環境の改善、救急医療体制の支援、観光支援など期待される効果は大きく、早期整備が必要である。
・また、暫定２車線での供用とするなどコスト縮減を行ったところ、事業全体の費用便益比は0.7と1.0を下回るものの、上記のような様々な整備効果が早期に発現できるとともに、残事業に対する費用便益比は1.7となり、残事業の投資効率性は確保されている。

費用対効果算出資料

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道１７号	六日町バイパス	Ｌ＝5.1Ｋｍ	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
8,700～12,900	2	北陸地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成２２年度		
単純合計	295億円	88億円	383億円
うち残事業分	143億円	66億円	208億円
基準年における現在価値（C）	271億円	23億円	293億円
うち残事業分	92億円	17億円	109億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成２２年度			
供 用 年	平成３６年度			
単年便益（初年便益）	16億円	2.8億円	0.35億円	19億円
基準年における現在価値（B）	180億円	31億円	3.9億円	215億円
うち残事業分	155億円	27億円	3.8億円	186億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	0.7
経済的純現在価値（事業全体）	-78億円
経済的内部収益率（事業全体）	3.0%
費用便益比（残事業）	1.7
経済的純現在価値（残事業）	77億円
経済的内部収益率（残事業）	7.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	8,700～12,900	±10%	1.6～1.8
事業費	143億円	±10%	1.6～1.9
事業期間	13年	±20%	1.4～1.8

様式－３①

交通状況の変化（全体）

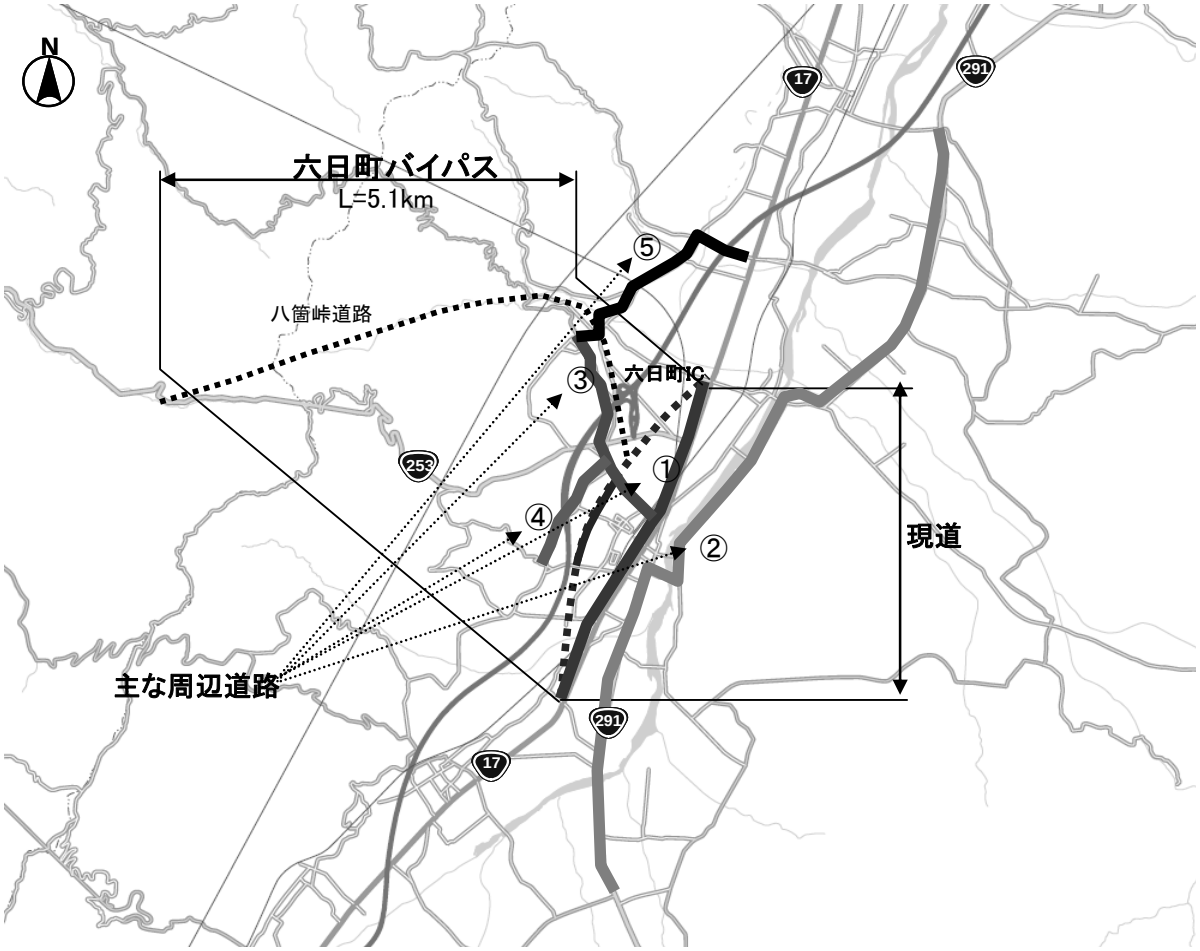
事業名：　六日町バイパス

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路［バイパス等］：5.1km		交通量	[台/日]	0	10,900
		走行時間	[分]	0.0	7.6
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	14.55
②主な周辺道路	①現道：4.8km	交通量	[台/日]	15,100	10,300
		走行時間	[分]	8.7	7.5
		走行時間費用	[億円/年]	22.92	13.62
	②国道291号：15.5km	交通量	[台/日]	6,200	4,300
		走行時間	[分]	29.4	26.5
		走行時間費用	[億円/年]	32.94	20.25
	③（主）十日町六日町線：3.0km	交通量	[台/日]	3,700	2,100
		走行時間	[分]	5.8	5.1
		走行時間費用	[億円/年]	4.13	1.90
	④（一）余川塩沢停車場線：2.5km	交通量	[台/日]	700	100
		走行時間	[分]	4.0	4.0
		走行時間費用	[億円/年]	0.45	0.07
	⑤（一）城内焼野線等：6.3km	交通量	[台/日]	1,000	400
		走行時間	[分]	12.8	12.6
		走行時間費用	[億円/年]	2.23	0.96
③その他道路合計：954.65km		走行時間費用	[億円/年]	623.99	620.19

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：991.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	686.66	671.54	15.13

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



交通状況の変化（残事業）

様式－３①

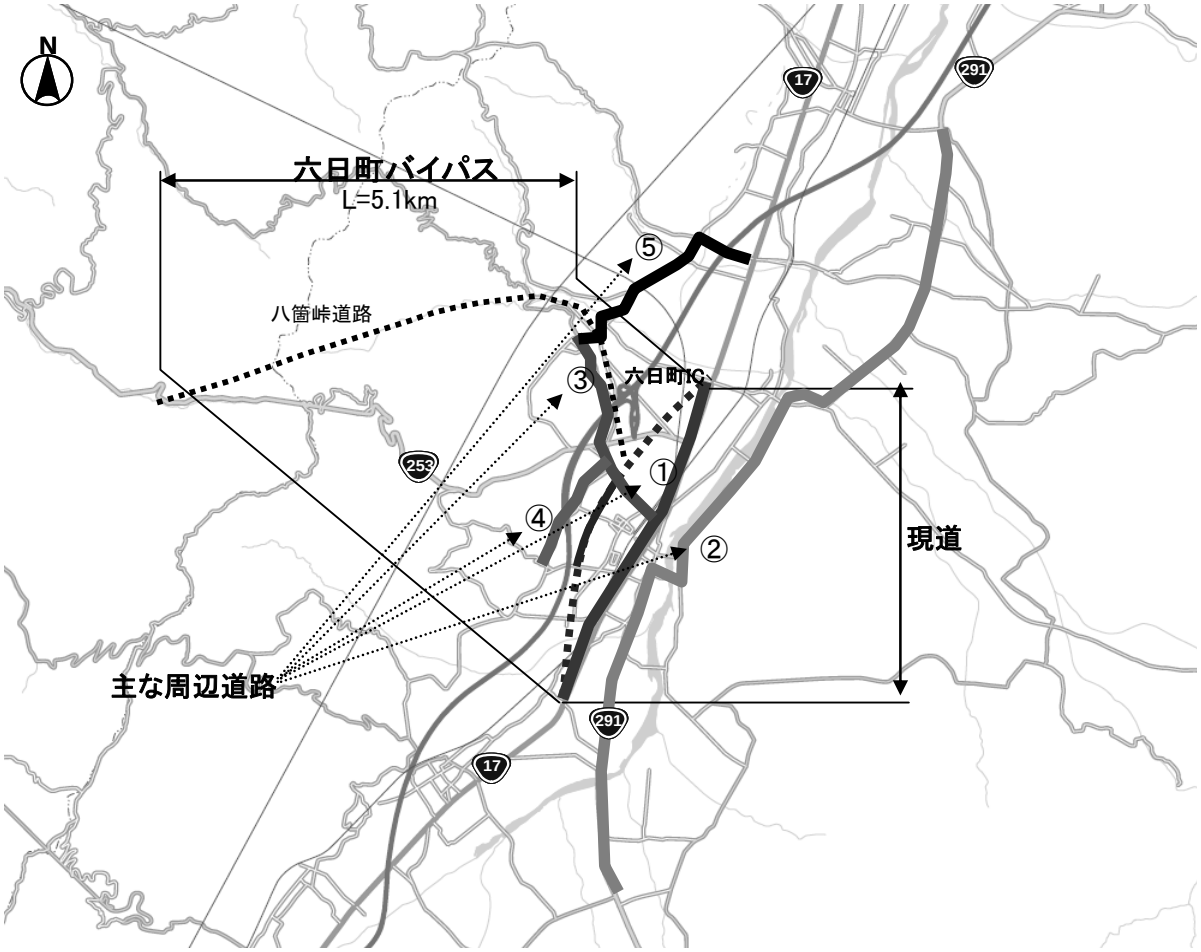
事業名：　六日町バイパス

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路［バイパス等］：5.1km		交通量	[台/日]	4,900	10,900
		走行時間	[分]	1.5	7.6
		走行時間費用	[億円/年]	1.29	14.55
②主な周辺道路	①現道：4.8km	交通量	[台/日]	15,200	10,300
		走行時間	[分]	8.7	7.5
		走行時間費用	[億円/年]	23.08	13.62
	②国道291号：15.5km	交通量	[台/日]	5,600	4,300
		走行時間	[分]	28.2	26.5
		走行時間費用	[億円/年]	28.38	20.25
	③（主）十日町六日町線：3.0km	交通量	[台/日]	3,900	2,100
		走行時間	[分]	5.6	5.1
		走行時間費用	[億円/年]	4.24	1.90
	④（一）余川塩沢停車場線：2.5km	交通量	[台/日]	300	100
		走行時間	[分]	4.0	4.0
		走行時間費用	[億円/年]	0.23	0.07
	⑤（一）城内焼野線等：6.3km	交通量	[台/日]	1,500	400
		走行時間	[分]	13.3	12.6
		走行時間費用	[億円/年]	3.42	0.96
③その他道路合計：954.65km		走行時間費用	[億円/年]	623.89	620.19

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：991.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	684.54	671.54	13.00

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名： 六日町バイパス

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成22年
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（H42）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分後の交通量とQ－V条件式との関係から設定。この際、Vminは実態に即した速度で設定。）		■

事業名:　六日町バイパス

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）%
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		□
		考慮する		■
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数(年あたり)	（129） 日
			採用した冬期日数の考え方を記載 降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数を考慮	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載 通常期と冬期の速度比を考慮	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他 （　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
		（考慮の場合、算出根拠を添付すること）		
	その他			

事業名： 六日町バイパス

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他（　　）	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	■
	その他		
４．その他			

様式－4

費用の現在価値算定表（全体）

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.363	5.1	1.85

箇所名： 六日町バイパス

年次	年度	割戻率 4.0%	GDP デフレータ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
－30年目	H 6	1.8730	103.6	0.19	0.31		
－29年目	H 7	1.8009	103.0	0.58	0.93		
－28年目	H 8	1.7317	102.4	0.39	0.60		
－27年目	H 9	1.6651	103.4	0.95	1.40		
－26年目	H 10	1.6010	102.8	2.00	2.84		
－25年目	H 11	1.5395	101.3	2.66	3.69		
－24年目	H 12	1.4802	99.7	16.42	22.26		
－23年目	H 13	1.4233	98.4	10.58	13.97		
－22年目	H 14	1.3686	96.6	16.98	21.96		
－21年目	H 15	1.3159	95.4	24.30	30.60		
－20年目	H 16	1.2653	94.4	19.26	23.57		
－19年目	H 17	1.2167	93.2	17.79	21.20		
－18年目	H 18	1.1699	92.5	9.45	10.91		
－17年目	H 19	1.1249	91.7	8.55	9.58		
－16年目	H 20	1.0816	91.3	9.81	10.61		
－15年目	H 21	1.0400	91.3	11.67	12.14		
－14年目	H 22	1.0000	91.3	0.19	0.19		
－13年目	H 23	0.9615	91.3	1.92	1.85		
－12年目	H 24	0.9246	91.3	0.98	0.91		
－11年目	H 25	0.8890	91.3	0.98	0.87		
－10年目	H 26	0.8548	91.3	0.98	0.84		
－9年目	H 27	0.8219	91.3	0.98	0.81		
－8年目	H 28	0.7903	91.3	3.42	2.70		
－7年目	H 29	0.7599	91.3	12.39	9.42		
－6年目	H 30	0.7307	91.3	10.93	7.99		
－5年目	H 31	0.7026	91.3	9.26	6.51		
－4年目	H 32	0.6756	91.3	18.30	12.36		
－3年目	H 33	0.6496	91.3	28.10	18.25		
－2年目	H 34	0.6246	91.3	37.08	23.16		
－1年目	H 35	0.6006	91.3	17.52	10.52		
供用開始年次	H 36	0.5775	91.3			1.76	1.02
1年目	H 37	0.5553	91.3			1.76	0.98
2年目	H 38	0.5339	91.3			1.76	0.94
3年目	H 39	0.5134	91.3			1.76	0.90
4年目	H 40	0.4936	91.3			1.76	0.87
5年目	H 41	0.4746	91.3			1.76	0.84
6年目	H 42	0.4564	91.3			1.76	0.80
7年目	H 43	0.4388	91.3			1.76	0.77
8年目	H 44	0.4220	91.3			1.76	0.74
9年目	H 45	0.4057	91.3			1.76	0.71
10年目	H 46	0.3901	91.3			1.76	0.69
11年目	H 47	0.3751	91.3			1.76	0.66
12年目	H 48	0.3607	91.3			1.76	0.63
13年目	H 49	0.3468	91.3			1.76	0.61
14年目	H 50	0.3335	91.3			1.76	0.59
15年目	H 51	0.3207	91.3			1.76	0.56
16年目	H 52	0.3083	91.3			1.76	0.54
17年目	H 53	0.2965	91.3			1.76	0.52
18年目	H 54	0.2851	91.3			1.76	0.50
19年目	H 55	0.2741	91.3			1.76	0.48
20年目	H 56	0.2636	91.3			1.76	0.46
21年目	H 57	0.2534	91.3			1.76	0.45
22年目	H 58	0.2437	91.3			1.76	0.43
23年目	H 59	0.2343	91.3			1.76	0.41
24年目	H 60	0.2253	91.3			1.76	0.40
25年目	H 61	0.2166	91.3			1.76	0.38
26年目	H 62	0.2083	91.3			1.76	0.37
27年目	H 63	0.2003	91.3			1.76	0.35
28年目	H 64	0.1926	91.3			1.76	0.34
29年目	H 65	0.1852	91.3			1.76	0.33
30年目	H 66	0.1780	91.3			1.76	0.31
31年目	H 67	0.1712	91.3			1.76	0.30
32年目	H 68	0.1646	91.3			1.76	0.29
33年目	H 69	0.1583	91.3			1.76	0.28
34年目	H 70	0.1522	91.3			1.76	0.27
35年目	H 71	0.1463	91.3			1.76	0.26
36年目	H 72	0.1407	91.3			1.76	0.25
37年目	H 73	0.1353	91.3			1.76	0.24
38年目	H 74	0.1301	91.3			1.76	0.23
39年目	H 75	0.1251	91.3			1.76	0.22
40年目	H 76	0.1203	91.3			1.76	0.21
41年目	H 77	0.1157	91.3			1.76	0.20
42年目	H 78	0.1112	91.3			1.76	0.20
43年目	H 79	0.1069	91.3			1.76	0.19
44年目	H 80	0.1028	91.3			1.76	0.18
45年目	H 81	0.0989	91.3			1.76	0.17
46年目	H 82	0.0951	91.3			1.76	0.17
47年目	H 83	0.0914	91.3			1.76	0.16
48年目	H 84	0.0879	91.3			1.76	0.15
49年目	H 85	0.0845	91.3	−146.85	−12.41	1.76	0.15
合　計				147.76	270.54	88.00	22.70

単純事業費計			294.61		88.00	

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－4

費用の現在価値算定表（残事業）

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名： 六日町バイパス

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.363	3.8	1.38

年次	年度	割戻率 4.0%	GDP デフレータ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
－30年目	H 6	1.8730	103.6				
－29年目	H 7	1.8009	103.0				
－28年目	H 8	1.7317	102.4				
－27年目	H 9	1.6651	103.4				
－26年目	H 10	1.6010	102.8				
－25年目	H 11	1.5395	101.3				
－24年目	H 12	1.4802	99.7				
－23年目	H 13	1.4233	98.4				
－22年目	H 14	1.3686	96.6				
－21年目	H 15	1.3159	95.4				
－20年目	H 16	1.2653	94.4				
－19年目	H 17	1.2167	93.2				
－18年目	H 18	1.1699	92.5				
－17年目	H 19	1.1249	91.7				
－16年目	H 20	1.0816	91.3				
－15年目	H 21	1.0400	91.3				
－14年目	H 22	1.0000	91.3				
－13年目	H 23	0.9615	91.3	1.92	1.84		
－12年目	H 24	0.9246	91.3	0.98	0.90		
－11年目	H 25	0.8890	91.3	0.98	0.87		
－10年目	H 26	0.8548	91.3	0.98	0.83		
－9年目	H 27	0.8219	91.3	0.98	0.80		
－8年目	H 28	0.7903	91.3	3.42	2.71		
－7年目	H 29	0.7599	91.3	12.39	9.42		
－6年目	H 30	0.7307	91.3	10.93	7.99		
－5年目	H 31	0.7026	91.3	9.26	6.50		
－4年目	H 32	0.6756	91.3	18.30	12.37		
－3年目	H 33	0.6496	91.3	28.10	18.26		
－2年目	H 34	0.6246	91.3	37.08	23.16		
－1年目	H 35	0.6006	91.3	17.52	10.52		
供用開始年次	H 36	0.5775	91.3			1.31	0.76
1年目	H 37	0.5553	91.3			1.31	0.73
2年目	H 38	0.5339	91.3			1.31	0.70
3年目	H 39	0.5134	91.3			1.31	0.67
4年目	H 40	0.4936	91.3			1.31	0.65
5年目	H 41	0.4746	91.3			1.31	0.62
6年目	H 42	0.4564	91.3			1.31	0.60
7年目	H 43	0.4388	91.3			1.31	0.57
8年目	H 44	0.4220	91.3			1.31	0.55
9年目	H 45	0.4057	91.3			1.31	0.53
10年目	H 46	0.3901	91.3			1.31	0.51
11年目	H 47	0.3751	91.3			1.31	0.49
12年目	H 48	0.3607	91.3			1.31	0.47
13年目	H 49	0.3468	91.3			1.31	0.45
14年目	H 50	0.3335	91.3			1.31	0.44
15年目	H 51	0.3207	91.3			1.31	0.42
16年目	H 52	0.3083	91.3			1.31	0.40
17年目	H 53	0.2965	91.3			1.31	0.39
18年目	H 54	0.2851	91.3			1.31	0.37
19年目	H 55	0.2741	91.3			1.31	0.36
20年目	H 56	0.2636	91.3			1.31	0.35
21年目	H 57	0.2534	91.3			1.31	0.33
22年目	H 58	0.2437	91.3			1.31	0.32
23年目	H 59	0.2343	91.3			1.31	0.31
24年目	H 60	0.2253	91.3			1.31	0.30
25年目	H 61	0.2166	91.3			1.31	0.28
26年目	H 62	0.2083	91.3			1.31	0.27
27年目	H 63	0.2003	91.3			1.31	0.26
28年目	H 64	0.1926	91.3			1.31	0.25
29年目	H 65	0.1852	91.3			1.31	0.24
30年目	H 66	0.1780	91.3			1.31	0.23
31年目	H 67	0.1712	91.3			1.31	0.22
32年目	H 68	0.1646	91.3			1.31	0.22
33年目	H 69	0.1583	91.3			1.31	0.21
34年目	H 70	0.1522	91.3			1.31	0.20
35年目	H 71	0.1463	91.3			1.31	0.19
36年目	H 72	0.1407	91.3			1.31	0.18
37年目	H 73	0.1353	91.3			1.31	0.18
38年目	H 74	0.1301	91.3			1.31	0.17
39年目	H 75	0.1251	91.3			1.31	0.16
40年目	H 76	0.1203	91.3			1.31	0.16
41年目	H 77	0.1157	91.3			1.31	0.15
42年目	H 78	0.1112	91.3			1.31	0.15
43年目	H 79	0.1069	91.3			1.31	0.14
44年目	H 80	0.1028	91.3			1.31	0.13
45年目	H 81	0.0989	91.3			1.31	0.13
46年目	H 82	0.0951	91.3			1.31	0.12
47年目	H 83	0.0914	91.3			1.31	0.12
48年目	H 84	0.0879	91.3			1.31	0.12
49年目	H 85	0.0845	91.3	−49.64	−4.19	1.31	0.11
合 計				93.20	91.98	65.50	16.88
単純事業費計				142.84		65.50	

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表（全体）

箇所名： 六日町バイパス

年次	年度（基準年） H22	総走行台ｷﾛの年次別伸び率（北陸ﾌﾞﾛｯｸ） 乗用車類	小型貨物	普通貨物	全　車	割戻率 (A)	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	①　計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	②　計	現在価値 (A)×②	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合　計（億円） 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H　36	0.99581	0.98498	0.97951	0.99264	0.5775	91.3	9.98	4.06	1.95	15.99	9.23	1.63	0.67	0.48	2.78	1.61	0.35	0.20	19.11	11.04
1年目	H　37	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.5553	91.3	9.94	4.00	1.91	15.84	8.80	1.62	0.66	0.47	2.75	1.53	0.34	0.19	18.94	10.52
2年目	H　38	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.5339	91.3	9.90	3.94	1.87	15.70	8.38	1.62	0.65	0.46	2.73	1.46	0.34	0.18	18.77	10.02
3年目	H　39	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.5134	91.3	9.86	3.88	1.83	15.56	7.99	1.61	0.64	0.45	2.70	1.39	0.34	0.17	18.60	9.55
4年目	H　40	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.4936	91.3	9.81	3.81	1.79	15.42	7.61	1.60	0.63	0.44	2.67	1.32	0.34	0.17	18.42	9.09
5年目	H　41	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.4746	91.3	9.77	3.75	1.75	15.27	7.25	1.60	0.62	0.43	2.65	1.26	0.33	0.16	18.25	8.66
6年目	H　42	0.99077	0.99335	1.00200	0.99205	0.4564	91.3	9.73	3.69	1.71	15.13	6.91	1.59	0.61	0.42	2.62	1.20	0.33	0.15	18.08	8.25
7年目	H　43	0.99069	0.99330	1.00200	0.99199	0.4388	91.3	9.64	3.67	1.71	15.02	6.59	1.58	0.61	0.42	2.60	1.14	0.33	0.14	17.95	7.88
8年目	H　44	0.99060	0.99326	1.00200	0.99193	0.4220	91.3	9.55	3.64	1.71	14.91	6.29	1.56	0.60	0.42	2.58	1.09	0.32	0.14	17.82	7.52
9年目	H　45	0.99051	0.99321	1.00199	0.99186	0.4057	91.3	9.46	3.62	1.72	14.80	6.00	1.55	0.60	0.42	2.57	1.04	0.32	0.13	17.69	7.18
10年目	H　46	0.99042	0.99316	1.00199	0.99179	0.3901	91.3	9.37	3.59	1.72	14.69	5.73	1.53	0.59	0.42	2.55	0.99	0.32	0.12	17.55	6.85
11年目	H　47	0.99033	0.99312	1.00198	0.99173	0.3751	91.3	9.28	3.57	1.72	14.58	5.47	1.52	0.59	0.42	2.53	0.95	0.32	0.12	17.42	6.54
12年目	H　48	0.99023	0.99307	1.00198	0.99166	0.3607	91.3	9.19	3.55	1.73	14.46	5.22	1.50	0.59	0.43	2.51	0.91	0.31	0.11	17.29	6.24
13年目	H　49	0.99014	0.99302	1.00198	0.99159	0.3468	91.3	9.10	3.52	1.73	14.35	4.98	1.49	0.58	0.43	2.49	0.87	0.31	0.11	17.16	5.95
14年目	H　50	0.99004	0.99297	1.00197	0.99152	0.3335	91.3	9.01	3.50	1.73	14.24	4.75	1.47	0.58	0.43	2.48	0.83	0.31	0.10	17.03	5.68
15年目	H　51	0.98994	0.99292	1.00197	0.99144	0.3207	91.3	8.92	3.47	1.74	14.13	4.53	1.46	0.57	0.43	2.46	0.79	0.31	0.10	16.90	5.42
16年目	H　52	0.98984	0.99287	1.00196	0.99137	0.3083	91.3	8.83	3.45	1.74	14.02	4.32	1.44	0.57	0.43	2.44	0.75	0.30	0.09	16.77	5.17
17年目	H　53	0.98973	0.99282	1.00196	0.99129	0.2965	91.3	8.74	3.42	1.74	13.91	4.12	1.43	0.57	0.43	2.42	0.72	0.30	0.09	16.63	4.93
18年目	H　54	0.98963	0.99277	1.00196	0.99122	0.2851	91.3	8.65	3.40	1.75	13.80	3.93	1.41	0.56	0.43	2.41	0.69	0.30	0.09	16.50	4.70
19年目	H　55	0.98952	0.99272	1.00195	0.99114	0.2741	91.3	8.56	3.37	1.75	13.69	3.75	1.40	0.56	0.43	2.39	0.65	0.30	0.08	16.37	4.49
20年目	H　56	0.98941	0.99266	1.00195	0.99106	0.2636	91.3	8.47	3.35	1.75	13.58	3.58	1.38	0.55	0.43	2.37	0.62	0.29	0.08	16.24	4.28
21年目	H　57	0.98929	0.99261	1.00194	0.99098	0.2534	91.3	8.38	3.32	1.76	13.47	3.41	1.37	0.55	0.43	2.35	0.60	0.29	0.07	16.11	4.08
22年目	H　58	0.98918	0.99255	1.00194	0.99090	0.2437	91.3	8.29	3.30	1.76	13.36	3.25	1.36	0.55	0.43	2.33	0.57	0.29	0.07	15.98	3.89
23年目	H　59	0.98906	0.99250	1.00194	0.99081	0.2343	91.3	8.20	3.27	1.76	13.24	3.10	1.34	0.54	0.43	2.32	0.54	0.29	0.07	15.85	3.71
24年目	H　60	0.98894	0.99244	1.00193	0.99073	0.2253	91.3	8.12	3.25	1.77	13.13	2.96	1.33	0.54	0.44	2.30	0.52	0.28	0.06	15.71	3.54
25年目	H　61	0.98881	0.99238	1.00193	0.99064	0.2166	91.3	8.03	3.23	1.77	13.02	2.82	1.31	0.53	0.44	2.28	0.49	0.28	0.06	15.58	3.38
26年目	H　62	0.98871	0.99233	1.00193	0.99057	0.2083	91.3	7.94	3.20	1.77	12.91	2.69	1.30	0.53	0.44	2.26	0.47	0.28	0.06	15.45	3.22
27年目	H　63	0.98860	0.99228	1.00192	0.99049	0.2003	91.3	7.85	3.18	1.78	12.80	2.56	1.28	0.52	0.44	2.24	0.45	0.27	0.06	15.32	3.07
28年目	H　64	0.98849	0.99222	1.00192	0.99041	0.1926	91.3	7.76	3.15	1.78	12.69	2.44	1.27	0.52	0.44	2.23	0.43	0.27	0.05	15.19	2.93
29年目	H　65	0.98837	0.99217	1.00191	0.99033	0.1852	91.3	7.67	3.13	1.79	12.58	2.33	1.25	0.52	0.44	2.21	0.41	0.27	0.05	15.06	2.79
30年目	H　66	0.98826	0.99211	1.00191	0.99025	0.1780	91.3	7.58	3.10	1.79	12.47	2.22	1.24	0.51	0.44	2.19	0.39	0.27	0.05	14.93	2.66
31年目	H　67	0.98815	0.99206	1.00191	0.99017	0.1712	91.3	7.49	3.08	1.79	12.36	2.12	1.22	0.51	0.44	2.17	0.37	0.26	0.05	14.80	2.53
32年目	H　68	0.98803	0.99201	1.00190	0.99008	0.1646	91.3	7.40	3.05	1.80	12.25	2.02	1.21	0.50	0.44	2.16	0.35	0.26	0.04	14.67	2.41
33年目	H　69	0.98792	0.99195	1.00190	0.99000	0.1583	91.3	7.31	3.03	1.80	12.14	1.92	1.19	0.50	0.44	2.14	0.34	0.26	0.04	14.54	2.30
34年目	H　70	0.98780	0.99190	1.00190	0.98992	0.1522	91.3	7.22	3.01	1.80	12.03	1.83	1.18	0.50	0.44	2.12	0.32	0.26	0.04	14.41	2.19
35年目	H　71	0.98769	0.99184	1.00189	0.98984	0.1463	91.3	7.14	2.98	1.81	11.92	1.74	1.17	0.49	0.44	2.10	0.31	0.25	0.04	14.28	2.09
36年目	H　72	0.98758	0.99179	1.00189	0.98976	0.1407	91.3	7.05	2.96	1.81	11.81	1.66	1.15	0.49	0.45	2.09	0.29	0.25	0.04	14.15	1.99
37年目	H　73	0.98746	0.99173	1.00188	0.98968	0.1353	91.3	6.96	2.93	1.81	11.70	1.58	1.14	0.48	0.45	2.07	0.28	0.25	0.03	14.02	1.90
38年目	H　74	0.98735	0.99168	1.00188	0.98960	0.1301	91.3	6.87	2.91	1.82	11.60	1.51	1.12	0.48	0.45	2.05	0.27	0.25	0.03	13.89	1.81
39年目	H　75	0.98723	0.99163	1.00188	0.98952	0.1251	91.3	6.79	2.88	1.82	11.49	1.44	1.11	0.48	0.45	2.03	0.25	0.24	0.03	13.77	1.72
40年目	H　76	0.98712	0.99157	1.00187	0.98944	0.1203	91.3	6.70	2.86	1.82	11.38	1.37	1.09	0.47	0.45	2.02	0.24	0.24	0.03	13.64	1.64
41年目	H　77	0.98701	0.99152	1.00187	0.98936	0.1157	91.3	6.61	2.84	1.83	11.27	1.30	1.08	0.47	0.45	2.00	0.23	0.24	0.03	13.51	1.56
42年目	H　78	0.98689	0.99146	1.00187	0.98928	0.1112	91.3	6.53	2.81	1.83	11.17	1.24	1.07	0.46	0.45	1.98	0.22	0.24	0.03	13.39	1.49
43年目	H　79	0.98678	0.99141	1.00186	0.98919	0.1069	91.3	6.44	2.79	1.83	11.06	1.18	1.05	0.46	0.45	1.96	0.21	0.23	0.02	13.26	1.42
44年目	H　80	0.98666	0.99135	1.00186	0.98911	0.1028	91.3	6.36	2.76	1.84	10.96	1.13	1.04	0.46	0.45	1.95	0.20	0.23	0.02	13.13	1.35
45年目	H　81	0.98655	0.99130	1.00185	0.98903	0.0989	91.3	6.27	2.74	1.84	10.85	1.07	1.02	0.45	0.45	1.93	0.19	0.23	0.02	13.01	1.29
46年目	H　82	0.98644	0.99124	1.00185	0.98895	0.0951	91.3	6.19	2.72	1.84	10.75	1.02	1.01	0.45	0.45	1.91	0.18	0.23	0.02	12.89	1.23
47年目	H　83	0.98632	0.99119	1.00185	0.98887	0.0914	91.3	6.10	2.69	1.85	10.64	0.97	1.00	0.44	0.45	1.90	0.17	0.22	0.02	12.76	1.17
48年目	H　84	0.98621	0.99114	1.00184	0.98879	0.0879	91.3	6.02	2.67	1.85	10.54	0.93	0.98	0.44	0.46	1.88	0.17	0.22	0.02	12.64	1.11
49年目	H　85	0.98610	0.99108	1.00184	0.98871	0.0845	91.3	5.94	2.64	1.85	10.43	0.88	0.97	0.44	0.46	1.86	0.16	0.22	0.02	12.52	1.06
合　計								402.99	162.73	89.40	655.11	180.15	65.85	26.88	22.00	114.73	31.42	14.08	3.89	783.93	215.46

様式－５

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 六日町バイパス

年次	年度（基準年）	総走行台ｷﾛの年次別伸び率（北陸ﾌﾞﾛｯｸ）				割戻率	GDPﾃﾞﾌﾚｰﾀ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合　計（億円）	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全　車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	①　計	現在価値①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②　計	現在価値(A)×②	③	現在価値③×(A)	便益合計(①～③)	現在価値割引率4%
供用開始年次	H　36	0.99581	0.98498	0.97951	0.99264	0.5775	91.3	8.56	3.50	1.68	13.74	7.93	1.34	0.58	0.47	2.39	1.38	0.33	0.19	16.47	9.51
1年目	H　37	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.5553	91.3	8.52	3.45	1.65	13.61	7.56	1.34	0.57	0.46	2.37	1.32	0.33	0.18	16.32	9.06
2年目	H　38	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.5339	91.3	8.48	3.39	1.61	13.49	7.20	1.33	0.57	0.45	2.35	1.25	0.33	0.18	16.17	8.63
3年目	H　39	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.5134	91.3	8.45	3.34	1.58	13.37	6.86	1.33	0.56	0.44	2.32	1.19	0.33	0.17	16.02	8.22
4年目	H　40	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.4936	91.3	8.41	3.29	1.55	13.25	6.54	1.32	0.55	0.43	2.30	1.13	0.32	0.16	15.87	7.83
5年目	H　41	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.4746	91.3	8.38	3.24	1.51	13.12	6.23	1.32	0.54	0.42	2.27	1.08	0.32	0.15	15.72	7.46
6年目	H　42	0.99077	0.99335	1.00200	0.99205	0.4564	91.3	8.34	3.18	1.48	13.00	5.93	1.31	0.53	0.41	2.25	1.03	0.32	0.15	15.57	7.11
7年目	H　43	0.99069	0.99330	1.00200	0.99199	0.4388	91.3	8.26	3.16	1.48	12.90	5.66	1.30	0.53	0.41	2.24	0.98	0.32	0.14	15.46	6.78
8年目	H　44	0.99060	0.99326	1.00200	0.99193	0.4220	91.3	8.19	3.14	1.48	12.81	5.41	1.29	0.52	0.41	2.22	0.94	0.31	0.13	15.34	6.48
9年目	H　45	0.99051	0.99321	1.00199	0.99186	0.4057	91.3	8.11	3.12	1.49	12.71	5.16	1.27	0.52	0.41	2.21	0.89	0.31	0.13	15.23	6.18
10年目	H　46	0.99042	0.99316	1.00199	0.99179	0.3901	91.3	8.03	3.10	1.49	12.62	4.92	1.26	0.52	0.41	2.19	0.85	0.31	0.12	15.12	5.90
11年目	H　47	0.99033	0.99312	1.00198	0.99173	0.3751	91.3	7.96	3.08	1.49	12.52	4.70	1.25	0.51	0.41	2.18	0.82	0.31	0.12	15.01	5.63
12年目	H　48	0.99023	0.99307	1.00198	0.99166	0.3607	91.3	7.88	3.06	1.49	12.43	4.48	1.24	0.51	0.41	2.16	0.78	0.30	0.11	14.89	5.37
13年目	H　49	0.99014	0.99302	1.00198	0.99159	0.3468	91.3	7.80	3.03	1.50	12.33	4.28	1.23	0.51	0.42	2.15	0.74	0.30	0.10	14.78	5.13
14年目	H　50	0.99004	0.99297	1.00197	0.99152	0.3335	91.3	7.73	3.01	1.50	12.24	4.08	1.21	0.50	0.42	2.13	0.71	0.30	0.10	14.67	4.89
15年目	H　51	0.98994	0.99292	1.00197	0.99144	0.3207	91.3	7.65	2.99	1.50	12.14	3.89	1.20	0.50	0.42	2.12	0.68	0.30	0.10	14.56	4.67
16年目	H　52	0.98984	0.99287	1.00196	0.99137	0.3083	91.3	7.57	2.97	1.51	12.05	3.71	1.19	0.49	0.42	2.10	0.65	0.29	0.09	14.44	4.45
17年目	H　53	0.98973	0.99282	1.00196	0.99129	0.2965	91.3	7.49	2.95	1.51	11.95	3.54	1.18	0.49	0.42	2.09	0.62	0.29	0.09	14.33	4.25
18年目	H　54	0.98963	0.99277	1.00196	0.99122	0.2851	91.3	7.42	2.93	1.51	11.86	3.38	1.16	0.49	0.42	2.07	0.59	0.29	0.08	14.22	4.05
19年目	H　55	0.98952	0.99272	1.00195	0.99114	0.2741	91.3	7.34	2.91	1.51	11.76	3.22	1.15	0.48	0.42	2.06	0.56	0.29	0.08	14.11	3.87
20年目	H　56	0.98941	0.99266	1.00195	0.99106	0.2636	91.3	7.26	2.89	1.52	11.67	3.08	1.14	0.48	0.42	2.04	0.54	0.28	0.07	14.00	3.69
21年目	H　57	0.98929	0.99261	1.00194	0.99098	0.2534	91.3	7.19	2.86	1.52	11.57	2.93	1.13	0.48	0.42	2.03	0.51	0.28	0.07	13.88	3.52
22年目	H　58	0.98918	0.99255	1.00194	0.99090	0.2437	91.3	7.11	2.84	1.52	11.48	2.80	1.12	0.47	0.42	2.01	0.49	0.28	0.07	13.77	3.36
23年目	H　59	0.98906	0.99250	1.00194	0.99081	0.2343	91.3	7.03	2.82	1.53	11.38	2.67	1.10	0.47	0.42	2.00	0.47	0.28	0.06	13.66	3.20
24年目	H　60	0.98894	0.99244	1.00193	0.99073	0.2253	91.3	6.96	2.80	1.53	11.29	2.54	1.09	0.47	0.42	1.98	0.45	0.27	0.06	13.55	3.05
25年目	H　61	0.98881	0.99238	1.00193	0.99064	0.2166	91.3	6.88	2.78	1.53	11.19	2.42	1.08	0.46	0.43	1.97	0.43	0.27	0.06	13.43	2.91
26年目	H　62	0.98871	0.99233	1.00193	0.99057	0.2083	91.3	6.80	2.76	1.54	11.10	2.31	1.07	0.46	0.43	1.95	0.41	0.27	0.06	13.32	2.77
27年目	H　63	0.98860	0.99228	1.00192	0.99049	0.2003	91.3	6.73	2.74	1.54	11.00	2.20	1.06	0.46	0.43	1.94	0.39	0.27	0.05	13.21	2.65
28年目	H　64	0.98849	0.99222	1.00192	0.99041	0.1926	91.3	6.65	2.72	1.54	10.91	2.10	1.04	0.45	0.43	1.92	0.37	0.26	0.05	13.10	2.52
29年目	H　65	0.98837	0.99217	1.00191	0.99033	0.1852	91.3	6.57	2.70	1.54	10.81	2.00	1.03	0.45	0.43	1.91	0.35	0.26	0.05	12.98	2.40
30年目	H　66	0.98826	0.99211	1.00191	0.99025	0.1780	91.3	6.50	2.67	1.55	10.72	1.91	1.02	0.45	0.43	1.90	0.34	0.26	0.05	12.87	2.29
31年目	H　67	0.98815	0.99206	1.00191	0.99017	0.1712	91.3	6.42	2.65	1.55	10.62	1.82	1.01	0.44	0.43	1.88	0.32	0.26	0.04	12.76	2.18
32年目	H　68	0.98803	0.99201	1.00190	0.99008	0.1646	91.3	6.34	2.63	1.55	10.53	1.73	1.00	0.44	0.43	1.87	0.31	0.25	0.04	12.65	2.08
33年目	H　69	0.98792	0.99195	1.00190	0.99000	0.1583	91.3	6.27	2.61	1.56	10.43	1.65	0.98	0.43	0.43	1.85	0.29	0.25	0.04	12.54	1.98
34年目	H　70	0.98780	0.99190	1.00190	0.98992	0.1522	91.3	6.19	2.59	1.56	10.34	1.57	0.97	0.43	0.43	1.84	0.28	0.25	0.04	12.43	1.89
35年目	H　71	0.98769	0.99184	1.00189	0.98984	0.1463	91.3	6.12	2.57	1.56	10.25	1.50	0.96	0.43	0.43	1.82	0.27	0.25	0.04	12.32	1.80
36年目	H　72	0.98758	0.99179	1.00189	0.98976	0.1407	91.3	6.04	2.55	1.57	10.15	1.43	0.95	0.42	0.43	1.81	0.25	0.24	0.03	12.21	1.72
37年目	H　73	0.98746	0.99173	1.00188	0.98968	0.1353	91.3	5.97	2.53	1.57	10.06	1.36	0.94	0.42	0.44	1.79	0.24	0.24	0.03	12.10	1.64
38年目	H　74	0.98735	0.99168	1.00188	0.98960	0.1301	91.3	5.89	2.51	1.57	9.97	1.30	0.93	0.42	0.44	1.78	0.23	0.24	0.03	11.99	1.56
39年目	H　75	0.98723	0.99163	1.00188	0.98952	0.1251	91.3	5.82	2.49	1.57	9.88	1.24	0.91	0.41	0.44	1.76	0.22	0.24	0.03	11.88	1.49
40年目	H　76	0.98712	0.99157	1.00187	0.98944	0.1203	91.3	5.74	2.46	1.58	9.78	1.18	0.90	0.41	0.44	1.75	0.21	0.23	0.03	11.77	1.42
41年目	H　77	0.98701	0.99152	1.00187	0.98936	0.1157	91.3	5.67	2.44	1.58	9.69	1.12	0.89	0.41	0.44	1.74	0.20	0.23	0.03	11.66	1.35
42年目	H　78	0.98689	0.99146	1.00187	0.98928	0.1112	91.3	5.59	2.42	1.58	9.60	1.07	0.88	0.40	0.44	1.72	0.19	0.23	0.03	11.55	1.28
43年目	H　79	0.98678	0.99141	1.00186	0.98919	0.1069	91.3	5.52	2.40	1.59	9.51	1.02	0.87	0.40	0.44	1.71	0.18	0.23	0.02	11.44	1.22
44年目	H　80	0.98666	0.99135	1.00186	0.98911	0.1028	91.3	5.45	2.38	1.59	9.42	0.97	0.86	0.40	0.44	1.69	0.17	0.22	0.02	11.34	1.17
45年目	H　81	0.98655	0.99130	1.00185	0.98903	0.0989	91.3	5.38	2.36	1.59	9.33	0.92	0.84	0.39	0.44	1.68	0.17	0.22	0.02	11.23	1.11
46年目	H　82	0.98644	0.99124	1.00185	0.98895	0.0951	91.3	5.30	2.34	1.59	9.24	0.88	0.83	0.39	0.44	1.67	0.16	0.22	0.02	11.12	1.06
47年目	H　83	0.98632	0.99119	1.00185	0.98887	0.0914	91.3	5.23	2.32	1.60	9.15	0.84	0.82	0.39	0.44	1.65	0.15	0.22	0.02	11.02	1.01
48年目	H　84	0.98621	0.99114	1.00184	0.98879	0.0879	91.3	5.16	2.30	1.60	9.06	0.80	0.81	0.38	0.44	1.64	0.14	0.21	0.02	10.91	0.96
49年目	H　85	0.98610	0.99108	1.00184	0.98871	0.0845	91.3	5.09	2.28	1.60	8.97	0.76	0.80	0.38	0.45	1.62	0.14	0.21	0.02	10.81	0.91
合　計								345.43	140.25	77.35	563.02	154.81	54.25	23.36	21.48	99.08	27.08	13.66	3.77	675.77	185.67

参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
六日町ﾊﾞｲﾊﾟｽ	南魚沼市竹俣～南魚沼市庄之又	暫定2	5.1km

■事業費内訳　【全体事業費】

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					11,216	
	改良費				3,988	
		土工	m3	723,517	1,310	掘削(103401m3)、切土(73247m3)、盛土(766240m3)
		地盤改良工	式	1	757	ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ
		法面工	㎡	97,384	82	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	73	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,220	21	
		函渠工	m	4,416	947	
		排水工	m	33,937	753	
		中央分離帯工	m	0	0	
		縁石工	m	5,082	27	
		雑工	式	1	18	構造物撤去等
	橋梁費				5,615	
		100m以上	m	1	5,150	JR上越線跨線橋、ほくほく線跨線橋、余川高架橋
		100m未満	m	1	464	国道17号橋、ランプ橋、余川IC橋
	舗装費				1,052	
		車道舗装	㎡	125,784	935	本線、ランプ、側道、県道、市道、農道等
		歩道舗装	㎡	36,358	116	
	付帯施設費				561	
		交通管理施設工	式	1	466	通信管路工、標識工、防護柵工、道路照明
		植栽工	式	1	46	
		調整池	式	1	49	
②用地及補償費					14,685	
	用地費		㎡	273,700	8,233	
		宅地	㎡	51,500	2,678	
		田畑	㎡	222,200	5,555	
		山林・原野	㎡	－	－	
		その他	㎡	－	－	
	補償費		式	1	6,452	
③間接経費			式	1	4,299	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					30,200	

参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
六日町ﾊﾞｲﾊﾟｽ	南魚沼市竹俣～南魚沼市庄之又	暫2	5.1km

■事業費内訳　【残事業費】

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					7,686	
	改良費				1,209	
		土工	m3	313,665	231	掘削(42,764m3)、盛土(524,018m3)
		地盤改良工	式	1	138	ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ
		法面工	㎡	19,299	16	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	28	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	622	10	
		函渠工	m	2,689	499	
		排水工	m	12,874	279	
		中央分離帯工	m	0	0	
		縁石工	m	1,361	7	
		雑工	式	1	0	構造物撤去等
	橋梁費				5,615	
		100m以上	m	1	5,150	JR上越線跨線橋、ほくほく線跨線橋、余川高架橋
		100m未満	m	1	464	国道17号橋、ランプ橋、余川IC橋
	舗装費				627	
		車道舗装	㎡	70,314	553	本線、ランプ、側道、県道、農道等
		歩道舗装	㎡	22,990	74	
	付帯施設費				236	
		交通管理施設工	式	1	196	通信管路工、標識工、防護柵工、道路照明
		植栽工	式	1	11	
		調整池	式	1	29	
②用地及補償費					4,964	
	用地費		㎡	46,330	1,459	
		宅地	㎡	11,130	579	
		田畑	㎡	35,200	880	
		山林・原野	㎡	－	－	
		その他	㎡	－	－	
	補償費		式	1	3,505	
③間接経費			式	1	2,100	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					14,750	